

TR-I-0046

キーボード会話収録システムについて

工藤育男、森元 暉

*Ikuo KUDO, Tuyosi MORIMOTO*

1988. 10, 13

概要

(概要の内容)

キーボード会話収録システムの概要について述べる。このシステムは、会話の媒介(システム)からくる制限をできるだけ、最小限にするように設計された会話文収録システムである。このシステムは、会話のもつ自由度、リアルタイム性を尊重し、会話文を再現性のある形で収集する。まず、最初に、会話を収録する際の問題となる言語現象についてのべ、次に、このシステムの概要について説明する。そして、付録資料として、このシステムの操作マニュアルを付け添えた。尚、このシステムは、すでに、キーボード会話収録のツールとして使用されている。

ATR Interpreting Telephony Research Laboratories  
ATR 自動翻訳電話研究所

## 目 次

1.はじめに	p1
2.対話文の収録について	p1
2.1対話の対応関係について	p2
2.2先打ち、後打ち	p2
2.3Real time 性	p3
2.4システム設計上の工夫	p4
3.システムについて	p5
3.1システムの概要	p5
3.2キーボード会話収録システムの機能	p6
3.2.1会話収録機能	p7
3.2.2ファイル管理機構	p7
3.2.3プリンター出力フォーマット	p9
4.むすび	p9
参考文献	p10

(付録)

キーボード会話収録システムの操作説明書

## 1.はじめに

会話研究のためには、ある程度(100万語程度)の量的に十分な量を集める必要がある。しかし、キーボード会話(Keyboard Dialogue)は、話し言葉による会話(Spoken Dialogue)とは違って、キーボードを媒介としているため、量的に集めるのが難しいという特色がある。そこで、効率よく、データを収録する必要がある。

キーボード会話(計算機を媒介とした人間同志の会話、もしくは、計算機を媒介とした計算機と人間との会話)を収集しようという試みは、国の内外をとわず、まだ、なされていない。国立国語研究所において、話し言葉の語彙調査の目的で、話し言葉による会話文を収集したが[1]、キーボードを媒介とした会話については、収集していない。また、海外においては、SRIにおいて、会話研究の目的のため、キーボードを媒介とした会話について研究[2]されているが、これは、研究用のサンプルデータを収録するためのもので、大規模なデータの収録計画はないようである。

ここでは、まず、最初に、会話文を収録する際の問題点について述べる。会話文といっても、まだ、研究が始まったばかりで、幾つかの新しい現象がみられる。まず、それらの現象について述べ、次に、会話文を再現性のある形で、収録するシステム(キーボード会話収録システム)について述べる。最後に、付録資料として、このシステムの操作マニュアルを添付する。

## 2.対話文の収録について

対話には、対話がどのように進行していくかという「流れ」に相当する構造がある。質問応答の場合では、質問、それに対する応答、質問、応答という一連の流れがあると考えられる。通訳者をまじえた会話の場合では、この対話の「流れ」は、日本語で質問、通訳者による英語訳、英語による応答、通訳者による日本語訳といった流れになる。通訳者をまじえた会話の場合では、この対話の「流れ」の他に、質問とその訳文、応答とその訳文との間に「対応」関係があると考えられる。しかし、実際の会話を分析してみると、「流れ」も「対応」も、揺らいでしまうことがある。ここでは、まず、これらの現象について、簡単に述

べ、次に、このような現象が起きた場合にも、会話文を収録できるようなシステムについて述べる。

## 2.1 対話の対応関係

通訳者をまじえた会話では、(例えば、日本語と英語の間に)、対応関係があると考えられる。しかし、実際の対応関係をしらべてみると、一対一に対応せずに、不对発話、割り込み発話、ノイズ的発話といったがあり、これらが、対応関係をとることを難しくする。

(1) 不对発話:通訳者が説明を加えたり、不要な事柄を削除したりする場合に、対応関係がくずれる。

(会議に参加するのに、参加費を支払わなくてはならないという状況で)

事務局:“You may pay by money or by check.”

通訳者:「為替でも結構ですし、小切手でもかまいません。」

質問者:「分かりました。では、お願いします。私の名前は松本美紀子と申します。

住所は、.....」

通訳者:“I see. My name is Mikkiko Matumoto and my address is .....”

アンダーラインで示した「では、お願いします。」の部分は、通訳者の判断により、通訳される際に省略されている。会話の場合、日本語の文が、必ずしも、英語の文に一対一に対応するわけではない。

(2) 割り込み発話:発話を対応づけるときには、内容によっても対応付けられるが、時間的關係も、一つの重要な要素になる。

質問者:「(資料を)送って頂くあて先は、大阪市東区城見2-1-61です。」

通訳者:“My address is 2-1-61 shiromi, Higashi-ku, Oosaka.”

(事務局と通訳者が会話している間に、質問者が別の用件を述べる)

質問者:「いつごろまでに、資料はとどきますか。」

(3) ノイズ的発話:本来の会話の内容とは別に、話を促す場合に発生される「まだ、ですか」、「早く、してください」などが当たる。

## 2.2 先打ち、後打ち

キーボード会話の特質として、キーストロークのタイミングずれ(先打ち、後

打ち)が生じる。相手が話終わる前に話を始める先打ちとか、逆に、話がおわったかとおもわれそうなときに会話を続ける後打ちといったキーストロークのタイミングがずれる現象がおこる。

[先打ちとは]

相手が話し終わる前に、次の発話を開始することをいう。話者が文末まで言い終わらなくても、話の主旨がつかめてしまうことがある。例えば、

質問者1 「会議に参加したいのですが。討論に参加するのではなく、聞いて居るだけでいいのですが、それでも宜しいですか。」

事務局2 「ええ、構いません。8月に会議場で登録をして下さい。そのときに登録料を.....御支払い.....下さい。」

質問者3 「登録料は.....御幾らですか。」

この会話の事務局2の応答が終わらないうちに、質問者が、「登録料は.....」と問い返している。双方向の通信が可能なシステムであるならば、話言葉と同様に、相手が言い終わらなくても、次の文を入力することがおこる。

[後打ちとは]

逆に、話がおわったかとおもわれそうなときに会話を続けることをいう。

質問者1 「私は英語が全然分らないのですが、同時通訳のサービスは有るのでしょうか。.....参加者の方と個人的に御話してみたいのですが、会場で通訳を頼めますか。」

事務局2 「はい、.....御座います。はい、出来ますが。」

事務局からみると、「同時通訳のサービスは有るのでしょうか。」という質問に答えようかなと思った瞬間に、次の質問「.....参加者の方と個人的に御話してみたいのですが、会場で通訳を頼めますか。」が入ってきている。このようにキーストロークのタイミングのずれにより、対応関係がくるうことがおこる。

### 2.3 Real time 性

キーボード会話では、リアル・タイム性が問題になる。例えば、以前、作成したシステム(Symbolics版)では、長い発話(3文)のときには、質問をしてから翻訳されて、答えが帰ってくるまでに10分以上も待たされていたことがあった。こ

れでは、会話を継続しろと言われても、継続できるものではない。リアルタイム性を必要とする会話では、なるべくシステムが話者に制限をかけない状態が望ましい。システムとしては、相手が全ての文を打ち終わるのを待って、初めて、入力できるシステムよりは、いつでも入力可能で、入力すると同時に、相手に転送してくれるシステムの方が、Real time性を重視しているという意味で望ましい。また、話者のキーボード入力に対する熟達度は、会話の形成にもおおきな要素となる。

## 2.4 システム設計上の工夫

これらの会話現象も十分に収録できるように、次の点に工夫をした。

(1) システム全体の管理機構(モニター機構)の設定: このシステムでは、会話といえども、必ずしも、対応しなくてもよいという思想に則って、設計した。すなわち、先うちとか、後うちといったタイミングがずれても、対応できるようにシステム全体を管理する機構(モニター機構)を設定した。会話が、今、どういう状況で行われているのかを把握できるようなモデルを導入した。

(2) 多対多の対応: ファイルの対応を前回のシステムでは、一対一に対応するように構成していた。そのため、不対対話、割り込み型の入った会話などが入ってくると、対応がとれなくなってしまう。このシステムでは、このような現象にも対応ができるように、多対多の対応をおこなうようにした。

(3) 先打ちとか後打ち: 先打ちとか、後打ちといったタイミングのずれにも対応できるファイルの管理ができるようなデータ構造を採用した。

(4) 一文字単位の転送: 入力した文字を、即座に、一文字単位で転送するようにした。

(5) 通訳者による話者選択機能: 通訳者が、二人の話者のうちどちらの話者と話をするのかを、選択できるようにした。この機能は、通訳者が質問の意味が不明確のときに問い返す場合などに使うものである。

### 3. システムについて

#### 3.1 システムの概要

このキーボード会話収録システムは、図1に示すように通常の(二人による)対話を収録するとともに、図2に示すように通訳者を介した対話の収録がおこなえる。

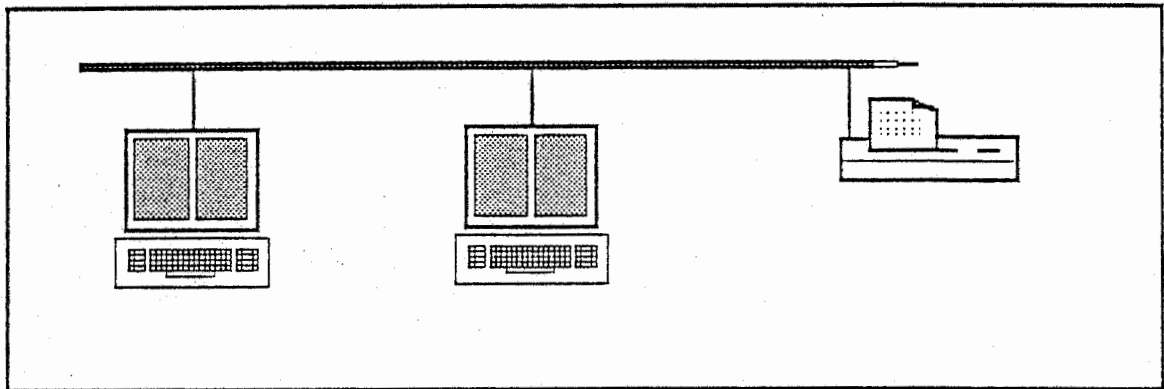


図1. 対話システム(二人用)

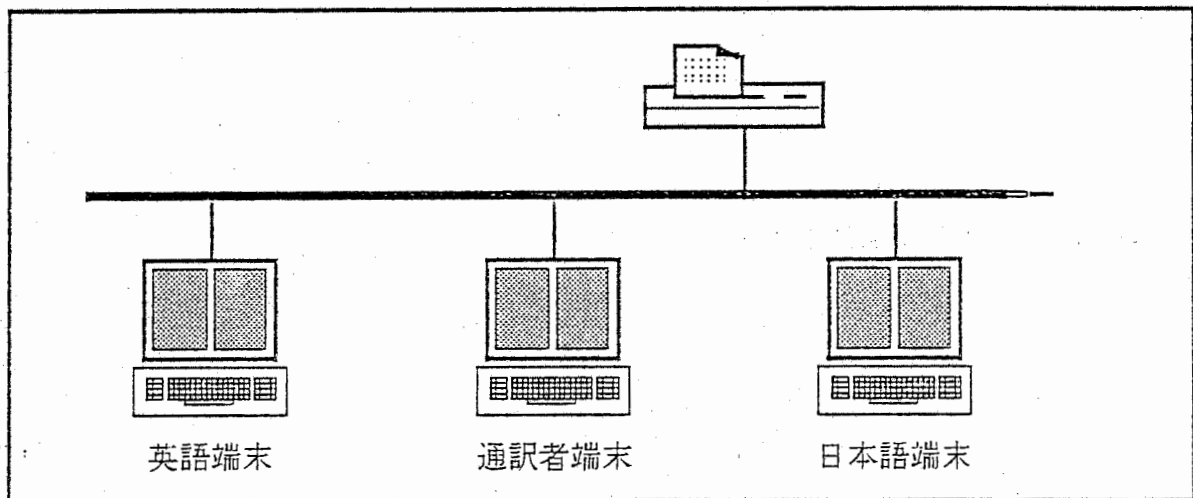


図2. 通訳つき対話システム

このシステムでは、図3の示すように、まず、最初に、対話システム(二人用)として利用するのか、通訳つき対話システムとして利用するのかを決める。次に、会話収録を行い、会話文を収集する。このとき、データは再現性のあるデータとして集められる(時間の要素、システムの状態、入力誤りなどのコードが記録されている。収録が終わると、システムが自動的に対応関係を考慮してファイル

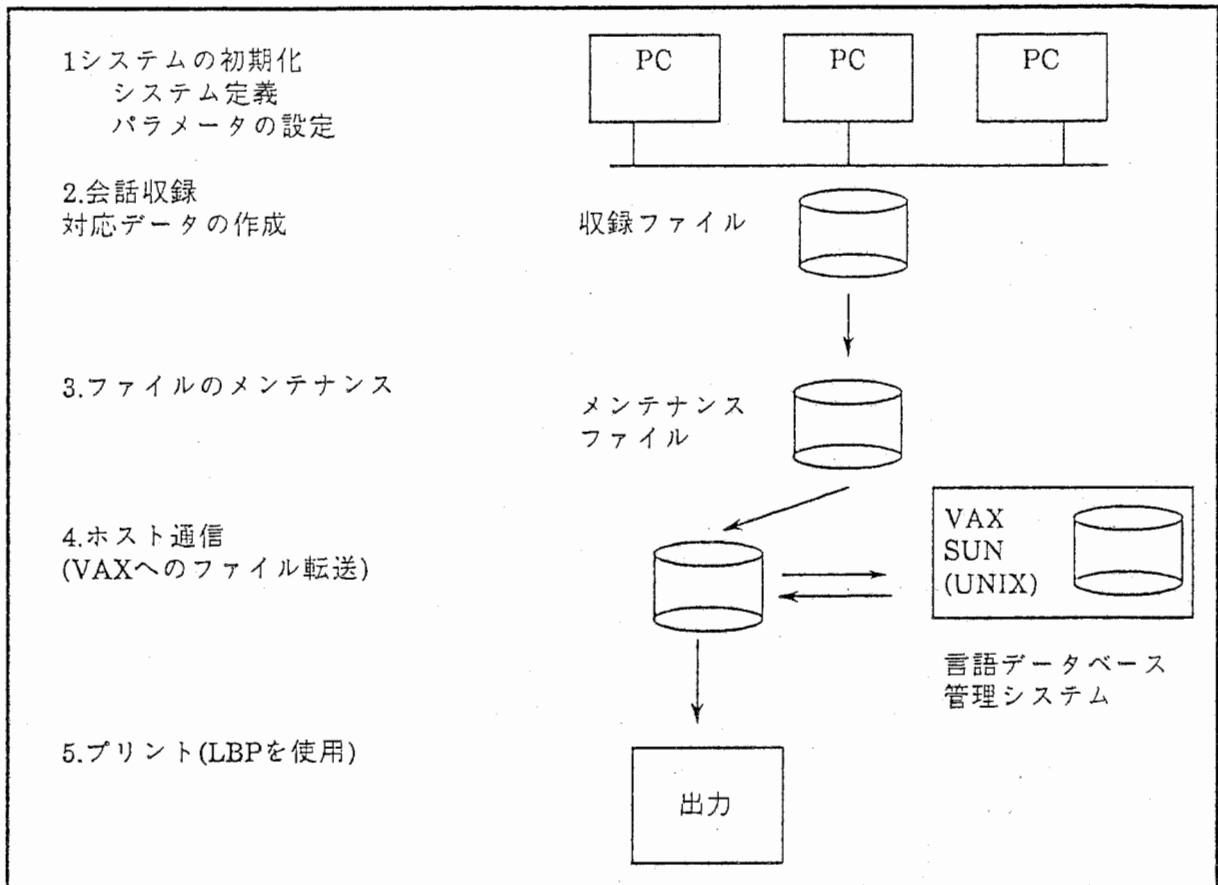


図3. キーボード会話収録システムの概要

を構成する。このファイルに対して修正がおこないたい場合は、ファイルのメンテナンスの機能を使って、ファイルを修正する。ファイルは、ホストにTCP/IPを使って、送受信することができる。送信されたデータは、言語データベース管理システム[3],[4],[5]の会話データとして利用される。また、収録されたデータは、プリンター(LBPを使用)を使って、出力される。

### 3.2 キーボード会話収録システムの機能

システムは、大きくわけて次の4つの機能から成っている。

- (1) 会話収録機能: 先ず、収録システムでは、再現可能な形でデータでとりこむ。
- (2) ファイル管理機構: ファイル管理機構で、収録されたデータを編集する。
- (3) ホスト通信機能: 編集されたファイルをホストにおくる。
- (4) プリンター出力: 収録データ、および、編集データを出力する。

これらの機能について、もう少し、詳しく説明する。



### 3.2.1 会話収録機能

収録部の特色としては、以下のものがある。

- 1) 話者情報入力機能: 会話収録実験のときに、話者に関する情報を入力することができる。
- 2) 一文字入出力機能: 入力された文字は、即座に、一文字単位で送られる。この機能により、情報は即座に伝わり、会話の処理はパイプ・ライン的に行われる。これは、どう言うことかと言うと、英語端末から通訳者に、情報が送られてくるとすると、発話が最終的に終わるのを待たなくても、通訳者は、訳し始めることができるということである。これは、長い文章が送られてきた場合を考えると、随分、時間の節約になる。
- 3) 生データ取り込み機能: 再現性のあるデータを収録することができる。すなわち、デリート・コードやカーソルの移動などの情報をデータとしてもっている。このデータは、プルーフ・リストとして出力することができる。
- 4) 通訳者による会話制御機能: 通訳者は、どちらの端末に向かって会話をするかをきめることができる。例えば、通訳者が、英語端末に向かって、通訳している間に、日本語端末から割り込みが入ってきた場合、その割り込みの会話に答えることもできる。すなわち、通訳者は、出力端末を英語端末から日本語端末に切り替えることができるということである。
- 5) ROLL UP/ROLL DOWN機能: 画面については、スクロールができる。
- 6) 遠隔通信機能: モデムを介して、遠隔地間でキーボード会話を実験することができる。
- 7) 会話中断機能: 収録実験中に、MS-DOSへ移行することげできる。また、MS-DOS上での作業終了後、また、もとの会話収録の状態に復帰することができる。
- 8) レコード件数確定機能: どのくらいの会話を収録しているかを参照することができる。

### 3.2.2 ファイル管理機構

ファイル管理機構としては、次のものがある。

- (1) ファイル編集機能: 会話収録の際に、生データ収録ファイルと情報入力ファイル(話者に関する情報などが記入されている)が作られる。収録が終了する

と同時に、生データ加工ファイルが自動的に生成される。

(2) ファイルメンテナンス機能:市販のエディター“MIFES”を使って、ファイルを編集することができる。キーボード会話収録システムでは、編集機能を選択すれば、自動的に市販の編集用ソフト“MIFES”が立ち上がるようになっている。

(3) ファイル転送機能: ファイルを各端末に転送することができる。ファイル名については、以下のようにになっている。(図4)参照のこと。

1)会話収録データの作成: 会話文収録と同時に以下のファイルが作成される。

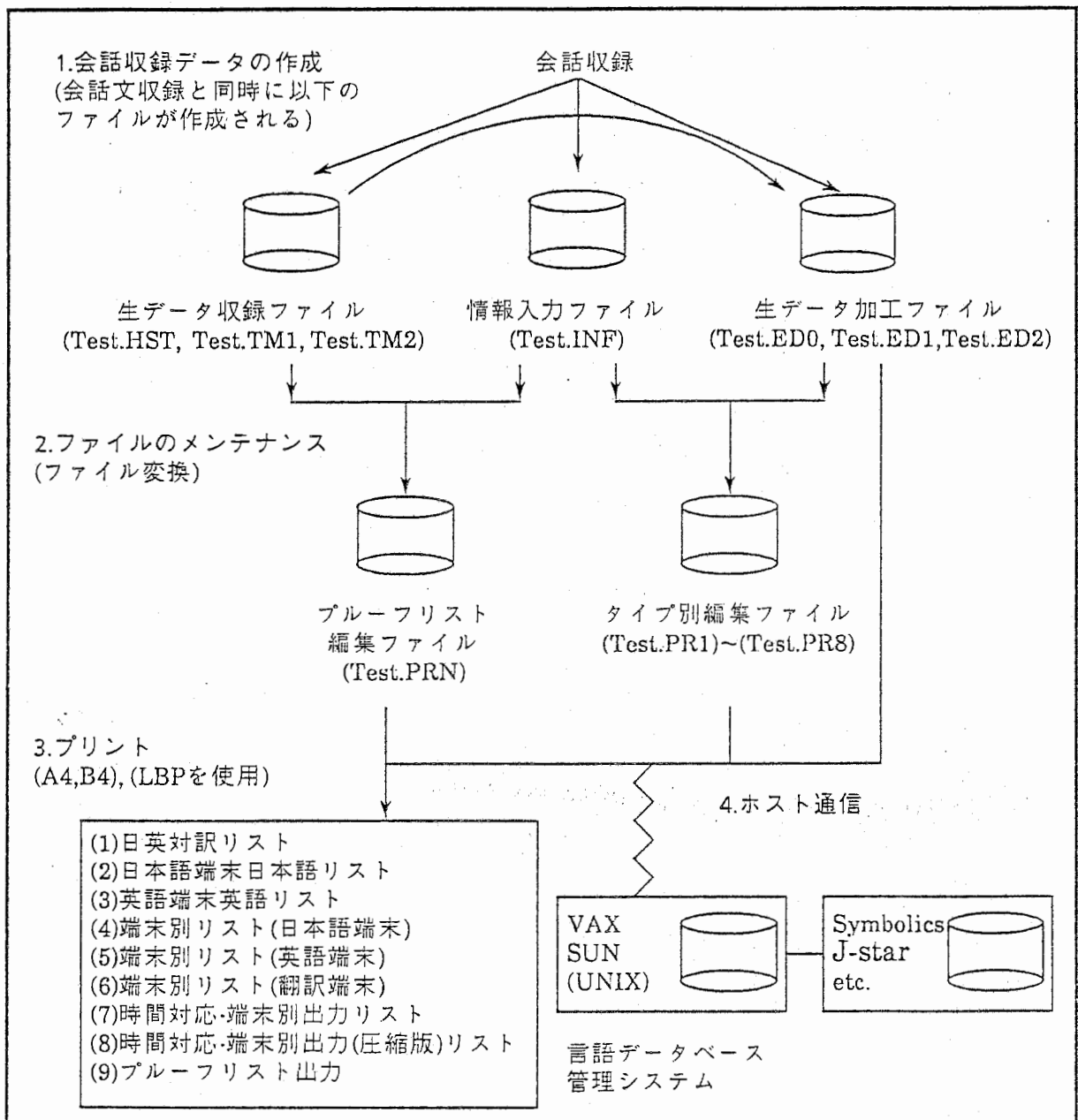


図4.キーボード会話収録システムのファイル構成

“Test”というファイル名が指定されたとする。

生データ収録ファイル(Test.HST, Test.TM1, Test.TM2)

情報入力ファイル(Test.INF)

生データ加工ファイル(Test.ED0, Test.ED1, Test.ED2)

生データ加工保存ファイル(Test.BK0, Test.BK1, Test.BK2)

2)ファイルのメンテナンス(ファイル変換)

プルーフリスト編集ファイル(Test.PRN)

タイプ別編集ファイル(Test.PR1~Test.PR8)

### 3.2.3プリンター出力フォーマット

出力フォーマットは、研究の目的に応じて、次の9種類のうちから選択することができる。(注意)\*が先頭についている発話が通訳者の発話である。

- (1)口英対訳リスト:(図5)参照。
- (2)日本語端末日本語リスト:(図6)参照
- (3)英語端末英語リスト:(図7)参照
- (4)端末別リスト(日本語端末):(図8)参照
- (5)端末別リスト(英語端末):(図9)参照
- (6)端末別リスト(翻訳端末):(図10)参照
- (7)時間対応・端末別出力リスト:(図11)参照
- (8)時間対応・端末別出力(圧縮版)リスト:(図12)参照
- (9)プルーフリスト出力:(図13および14参照)

## 4.むすび

キーボード会話収録システムの概要について述べた。このシステムは、会話の媒介(システム)からくる制限をできるだけ、最小限にするように設計された。すなわち、会話のもつ自由度、リアル・タイム性を尊重した会話文収録システムになっている。このシステムは、すでに、キーボード会話収録実験の道具として使用されている。

参考文献

[1]国立国語研究所関連

斎賀秀夫 「話し言葉の計量国語学的調査・分析のための基礎的研究」

(1)“総論・話し言葉の語彙および分類について”

(2)“言語研究のためのプログラム集”

(3)“話し言葉データ集一覧” (昭和58年3月)

[2]SRI関連

(1)Jerry R.Hobbs and David andreoff Evans, “Conversation as Planned Behavior”, Cognitive Science 4, pp.349-377, (1980).

(2)Philip R.Cohen, “The Pragmatics of Referring and the Modality of Communication” Computational Linguistics, Vol10, No 2, (1984).

(3)Philip R.Cohen & Scott Fertig & Kathy Star, “Dependencies of discourse structure on the modality of Communication: Telephone vs. Teletype”, Proceedings of the conference of 20th Anunal meeting of ACL.

[3]会話文収録関連

(1)森元、他「自動翻訳電話研究用言語データベース収集について」情処第37年全国大会

(2)篠崎、他「言語データベース作成のためのシュミレーション会話」情処第37年全国大会

[4]キーボード会話に関する分析関連

(1)有田、他「メディアに依存する会話の様式」情処NL権61-5, (1987).

[5]言語データベース関連

(1)小倉、他「言語データベース収集支援システム」情処第36年全国大会

(2)小倉、他「言語データベース統合管理システム」情処第37年全国大会

(3)橋本、他「言語データベース統合管理システムのマン・マシンインターフェイス」情処第37年全国大会

(4)篠崎、他「言語データベースの品質管理」情処第36年全国大会

(5)北、他「テキスト・データベースからの慣用表現の自動抽出」情処第37年全国大会

\* \* \* \* \* 日 英 対 訳 リ ス ト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 [ b:key01 ]

文 番 号	E N G L I S H	日 本 語
1	Mr. Nagaki, I have a question regarding the International Conference on Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.	* 稲垣さん、今年の秋大阪で開かれる予定の国際コンピュータ会議についてお伺いします。
2	* Yes, we are very happy to answer any questions.	はい、どうぞ。
3	I am member of the Data Processing Society, one of the supporters of this conference. I am also thinking of having my company participate in this conference. My question is this: should I apply to participate in the conference as a supporter or as a general company participant?	* 私はこの国際会議を協賛する情報処理学会に所属しています。しかしながら、会社はこの会議に出席しよかと考えています。私がお聞きしたいのは、協賛者としてか、一般参加者としてかどちらで登録すればよいのでしょうか。
4	* You can apply to participate in the conference as a supporter.	協賛者側として、登録していただければ、結構です。
5	I understand. My problem is this-- both affiliations are important to me-- as a supporter AND as a member of my company. If any list of members is published, can I be listed as both? Also, will my participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.	* はい、わかりました。しかし、学会員と一般参加者としての立場は私にとって両方重要で、重なる場合として出版される場合、学会員として、場違いな感じがするでしょうか。また、その両方としてリストしていただけるのでしょうか。
6	* There is no difference. And also you can be listed as both if you want.	違いはありません。また、両方をリストに併記させていただきます。
7	That sounds fine. I will let the organizer at my company know that he doesn't need to apply for me but that he can list me as a participant. Thank you. If I have any more questions is it all right to contact you, Mr. Nagaki?	* よくわかりました。会社に連絡して、会社からは登録申請せず、一般参加者として会議に参加したいと思いましたが、稲垣さんの方、に、連絡させていただきます。よろしいでしょうか。
8	* Please contact me whenever it is necessary.	結構でございます。気軽にご連絡下さい。
9	I understand. Thanks again.	* わかりました。どうもお世話になりました。
10	* Thank you very much. Good-bye.	ありがとうございました。失礼します。
11	Bye.	* 失礼します。

図5 日英対訳リスト

\* \* \* \* \* 日 本 語 端 末 日 本 文 リ ス ト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 【 b:key01 】

文 番 号	日 本 文
1	* 稲垣さん、今年の秋大阪で開かれる予定の国際コンピュータ会議についてお伺いします。
2	はい、どうぞ。
3	* 私はこの国際会議を協賛する情報処理学会に所属しています。しかしながら、会社からこの会議に出席しようかと考えています。私がお聞きしたいのは、協賛者側としてか、一般参加者としてかどちらで登録すればよいのでしょうか。
4	協賛者側として、登録していただければ、結構です。
5	* はい、わかりました。しかし、学会員と一般参加者としての立場は私にとって両方とも重要です。もし、参加者リストが出版される場合、学会員としてリストされる場合と、一般参加者としてリストされる場合で、何か違いがありますでしょうか。また、その両方としてリストしていただけるのでしょうか。
6	違いはありません。また、両方をリストに併記させていただきます。
7	* よくわかりました。会社に連絡して、会社からは登録申請せず、一般参加者として会議に参加したいと思います。どうもありがとうございます。また、質問がありましたら、稲垣さんの方に、連絡させていただいてよろしいでしょうか。
8	結構でございます。気軽にご連絡下さい。
9	* わかりました。どうもお世話になりました。
10	ありがとうございます。失礼します。
11	* 失礼します。

図6 日本語端末日本語リスト

\* \* \* \* \* 英語端末英文リスト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 【 b:key01 】

文 番 号	英	文
1	Mr. Nagaki, I have a question regarding the International Conference on Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.	
2	* Yes, we are very happy to answer any questions.	
3	I am member of the Data Processing Society, one of the supporters of this conference. I am also thinking of having my company participate in this conference. My question is this: should I apply to participate in the conference as a supporter or as a general company participant?	
4	* You can apply to participate in the conference as a supporter.	
5	I understand. My problem is this-- both affiliations are important to me-- as a supporter AND as a member of my company. If any list of members is published, can I be listed as both? Also, will my participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.	
6	* There is no difference. And also you can be listed as both if you want.	
7	That sounds fine. I will let the organizer at my company know that he doesn't need to apply for me but that he can list me as a participant. Thank you. If I have any more questions is it all right to contact you, Mr. Nagaki?	
8	* Please contact me whenever it is necessary.	
9	I understand. Thanks again.	
10	* Thank you very much. Good-bye.	
11	Bye.	

図7 英語端末英語リスト

\* \* \* \* \* 端 末 別 出 力 ( 日 本 語 端 末 ) リ ス ト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 [ b:key01 ]

文 番 号	送 信 パ ネ ル	受 信 パ ネ ル
1	*	稲垣さん、今年の秋大阪で開かれる予定の国際コンピュータ会議についてお伺いします。
2	はい、どうぞ。	*
3	*	私はこの国際会議を協賛する情報処理学会に所属しています。また、もし私がこの会議に参加したい場合は、どうか、一般参加者として登録をお願いします。
4	協賛者側として、登録していただければ、結構です。	*
5	*	はい、私の場合、わが社の関係で、両方のリストに併記させていただきます。
6	違いはありません。また、両方をリストに併記させていただきます。	*
7	*	よくわかりました。どうもお世話になりました。
8	結構でございます。気軽にご連絡下さい。	*
9	*	ありがとうございました。失礼します。
10	ありがとうございます。失礼します。	*
11	*	失礼します。

図8 端末別リスト(日本語端末)



\* \* \* \* \* 端末別出力 ( 英語端末 ) リスト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 [ b:key01 ]

文 番 号	T r a n s m i s s i o n   P a n e l	R e c e i v e   P a n e l
1	Mr. Nagaki, I have a question regarding the International Conference on Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.	*
2	*	Yes, we are very happy to answer any questions.
3	I am member of the Data Processing Society, one of the supporters of this conference. I am also thinking of having my company participate in this conference. My question is this: should I apply to participate in the conference as a supporter or as a general company participant?	*
4	*	You can apply to participate in the conference as a supporter.
5	I understand. My problem is this-- both affiliations are important to me-- as a supporter AND as a member of my company. If any list of members is published, can I be listed as both? Also, will my participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.	*
6	*	There is no difference. And also you can be listed as both if you want.
7	That sounds fine. I will let the organizer at my company know that he doesn't need to apply for me but that he can list me as a participant. Thank you. If I have any more questions is it all right to contact you, Mr. Nagaki?	*
8	*	Please contact me whenever it is necessary.
9	I understand. Thanks again.	*
10	*	Thank you very much. Good-bye.
11	Bye.	*

図9 端末別リスト(英語端末)



\* \* \* \* \* 時間対応・端末別出力リスト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 [ b:key01 ]

時刻	E N G L I S H	翻 訳 文	日 本 語
13:37:55	Mr. Nagaki, I have a question regarding the International Conference on Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.		
13:38:36		稲垣さん、今年の秋大阪で開かれる予定の国際コンピュータ会議についてお伺いします。	
13:40:18 13:40:38		Yes, we are very happy to answer any questions.	はい、どうぞ。
13:41:14	I am member of the Data Processing Society, one of the supporters of this conference. I am also thinking of having my company participate in this conference. My question is this: should I apply to participate in the conference as a supporter or as a general company participant?		
13:42:58		私はこの国際会議を協賛する情報処理の学会、会社に所属するところから、この会議に参加したいと考えています。どうか。	
13:45:13			協賛者側として、登録していただければ、結構です。
13:46:00		You can apply to participate in the conference as a supporter.	
13:46:35	I understand. My problem is this-- both affiliations are important to me-- as a supporter AND as a member of my company. If any list of members is published, can I be listed as both? Also, will my participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.		
13:48:05		はい、わが社も協賛者として参加したいと考えています。どうか。	会員として参加する場合は、私個人として参加するのと、会社として参加するのと、どちらがよいのか、お伺いします。

図11 時間対応・端末別出力リスト

\* \* \* \* \* 時間対応・端末別出力（圧縮版）リスト \* \* \* \* \*

情報入力ファイル名 [ b:key01 ]

時刻	E N G L I S H	翻 訳 文	日 本 語
13:37:55	Mr. Nagaki, I have a question regarding the International Conference on Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.	稲垣さん、今年秋大阪で開かれる子供定国際コンピユータ会議について伺います。	*
13:40:18	*	Yes, we are very happy to answer any questions.	はい、どうぞ。
13:41:14	I am member of the Data Processing Society, one of the supporters of this conference. I am also thinking of having my company participate in this conference. My question is this: should I apply to participate in the conference as a supporter or as a general company participant?	私はこの国際会議を協賛する情報処理学会のメンバーです。この会議に私の会社も参加したいのですが、協賛者として登録するか、一般参加者として登録するか、どちらがよいのか、お聞きしたいです。	*
13:45:13	*	You can apply to participate in the conference as a supporter.	協賛者側として、登録していただければ、結構です。
13:46:35	I understand. My problem is this-- both affiliations are important to me-- as a supporter AND as a member of my company. If any list of members is published, can I be listed as both? Also, will my participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.	はい、両方とも重要だとおっしゃる。両方のリストに名前を載せたい。もし両方とも載せたい場合は、どちらの立場で参加しても構いません。また、両方をリストに併記させていただけます。	*
13:51:18	*	There is no difference. And also you can be listed as both if you want.	違いはありません。また、両方をリストに併記させていただきます。
13:52:48	That sounds fine. I will let the organizer at my company know that he doesn't need to apply for me but that he can list me as a participant. Thank you. If I have any more questions is it all right to contact you, Mr. Nagaki?	よくわかりました。私の会社主催の会議に私が参加したいのですが、お聞きしたいです。もし他に何か質問があれば、ご連絡をお願いします。	*

図12 時間対応・端末別出力(圧縮版)リスト

送信権	音 語	開始時間	文番号	D A T A	終了時間
○	1	16:41:55	( 1)	Hello.	16:42:03
○	2	16:42:08	( 1)	もしもし.	16:42:09
○		16:42:14	( 2)	はい.	16:42:14
○		16:42:16	( 2)	Yes.	16:42:18
○		16:42:20	( 3)	I understand and that the First International Interpreting Tokyo Conference will be held in April.	16:43:32
○		16:43:32	( 3)	【第一回通訳電話国際会議が】	16:43:51
○		16:43:51	( 3)	in April.	16:44:17
○		16:44:23	( 3)	この春の4月に開かれるそうですね.	16:45:01
○		16:45:04	( 4)	はい、そうです.	16:45:09
○		16:45:11	( 4)	Yes, that's correct.	16:45:22
○		16:45:26	( 5)	Where is the venue?	16:45:52
○		16:45:56	( 5)	会場はどこですか.	16:46:10
○		16:46:10	( 5)	【京都の国際会議場】	16:46:23
○		16:46:30	( 6)	場です.	16:46:36
○		16:46:39	( 6)	Kyoto's International Conference Hall.	16:46:58
○		16:47:03	( 7)	How much does it cost to register?	16:47:23
○		16:47:30	( 7)	参加料はいくらですか.	16:47:38
○		16:47:46	( 8)	アメリカドルで100ドルです.	16:48:00
○		16:48:00	( 8)	[100]	16:48:05
○		16:48:06	( 8)	U.S.	16:48:19
○		16:48:27	( 9)	Is that for just attending the conference?	16:48:48
○		16:48:52	( 9)	それは聴講だけでいいですか?.	16:49:10
○		16:49:17	( 10)	そうです.	16:49:18
○		16:49:21	( 10)	That's correct.	16:49:32
○		16:49:39	( 11)	Has the conference program been completed?	16:50:08
○		16:50:16	( 11)	会議のプログラムはできていますか.	16:50:28

(図13) プルーフリスト出力

[プルーフリストの見方]

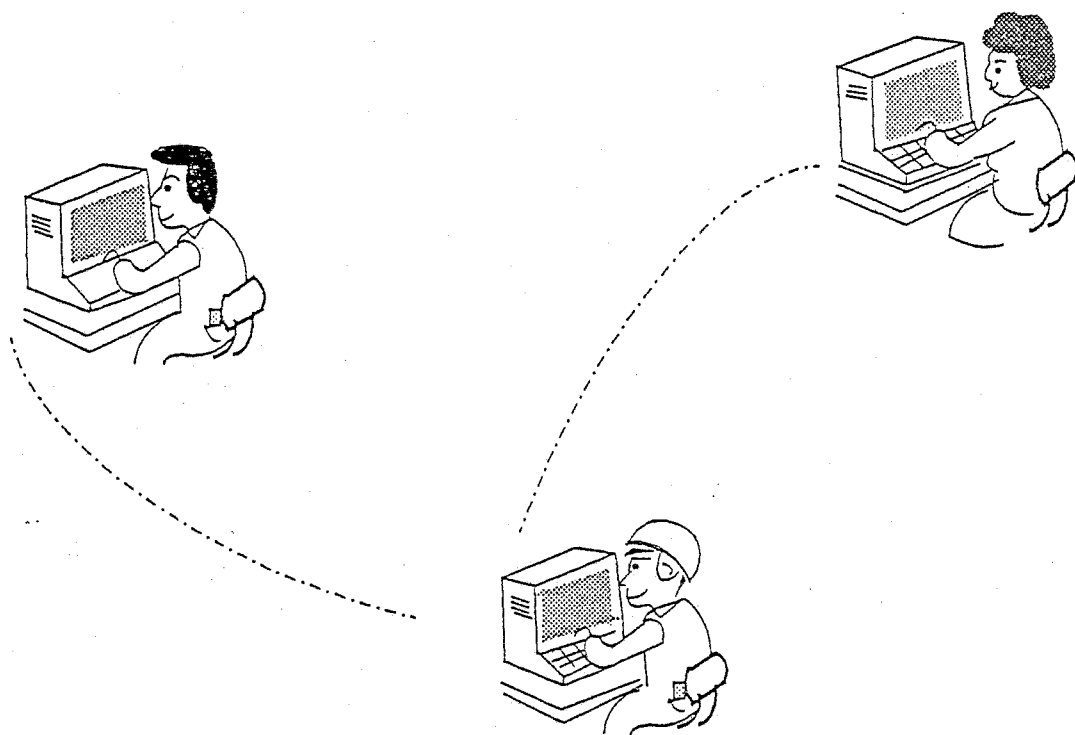
- ①送信権: システム全体の会話の流れに関する状態が記述されている。  
○のときは、通常の対話で、送信権を持っている端末から、矢印で示される端末へ送信したことを示している。  
⊙のときは、送信権のない端末から入力されたことを示している。
- ②言語: 使用された言語
- ③開始時間: 文章先頭の文字が入力された時間
- ④文番号
- ⑤DATA: 実際に入力された文字と特殊キーが表示される。  
特殊キーの意味  
△ BS(Back Space) Key  
▼ DEL(Delete) Key  
→ 右むきのカーソルの移動  
← 左むきのカーソルの移動
- ⑥終了時間: PF3(ファンクション・キーの3番)が入力された時間

送信権 端末 1	翻訳 端末 2	言語	開始時間	文番号	D A T A	終了時間
	←○	英語	13:37:55	{ 1}	Mr. Nagaki, I need△△△△△△ have a question regarding the I△△ International Conference on Oc△△ Computer Science to be held in Osaka this coming autumn.	13:38:29
	←○	日本語	13:38:36	{ 1}	稲垣根△さん、今年の秋大阪で開かれるよておm p △△△△△子定の国際コンピュータ会議の△についてお伺いします。	13:39:44
○→	○→	日本語	13:40:18	{ 2}	はい、どうぞ。	13:40:33
	○→	英語	13:40:38	{ 2}	Yes, we are very happy to answer any questions.	13:41:09
	←○	英語	13:41:14	{ 3}	I asm△△m a △△member of the Data △△Processing Society, one of the supporter s△△s of this conference. I△I am alson △△ thinking of having my company particiap△△△@△pate in this conference. Myu △△ qesiton △△△△△tion is this: should I apply to participate in teh c△△△△he conference as a supporter or as a general company partici@pa△△△pant/△.△?>△	13:42:53
	←○	日本語	13:42:58	{ 3}	私はこの国際会議を協賛する情報処理学会に所属しています。しかしながら、会社からこの会議に出席しようかと考えています。△私がお聞きしたいのは、協賛差△者側としてか、一般参加者としてかどちらで登録すればよいのでしょうか。	13:45:06
○→	○→	日本語	13:45:13	{ 4}	協賛者側として、登録していただければ、結構です。	13:45:52
	○→	英語	13:46:00	{ 4}	Y0u△△ou can apply to participate in the conference as a supporter.	13:46:19
	←○	英語	13:46:35	{ 5}	I understand. I would△△△△△△△△My problem is this-- b oth affilic△ations are imp@orta△△△△△ortant to me-- a s a supporter AND as a a △△emm△△△member of my company . If any list of memer△△bers is pub△△ublished, can I be listed as both? Also, will my a△participation differ if I come as a supporter or a company member? Thank you.	13:47:58

図14 プルーフラスト出力

キーボード会話収録

システム操作説明書



DAATR

- MS-DOSは米マイクロソフト社の登録商標です
- ATOKは髯ジャストシステムの登録商標です
- MIFESはメガソフト社の商標です
- CSK VT-98は髯CSKの登録商標です



# 目次

第1章	システムの立ち上げ手順	
1	ハードウェアの基本構成	1
2	プログラムの立ち上げ手順	2
第2章	翻訳端末を使う場合	
1	システムのセットアップ	4
2	システムの選択	10
3	翻訳付対話システム	14
4	対話システム	18
5	会話収録ファイル管理システム	22
6	メンテナンス	37
7	ホスト通信	46
8	ファイル転送	50
第3章	日/英端末を使う場合	
1	システムのセットアップ	54
2	対話システム	55
第4章	ソフトキーの操作	
1	PF1 (翻訳端末のみ有効)	59
2	PF3 (全端末有効)	60
3	PF6 (翻訳端末のみ有効)	61
4	PF9 ( " )	62
5	ROLL UP ( " )	63
6	ROLL DOWN ( " )	64
7	HOME CLR ( " )	65
8	HELP ( " )	66
第5章	漢字変換について	
1	漢字変換と確定について	68
2	ファンクション機能について	68
第6章	エラーメッセージ一覧表	69
第7章	使用禁止キーについて	70
第8章	プリンタ出力について	71

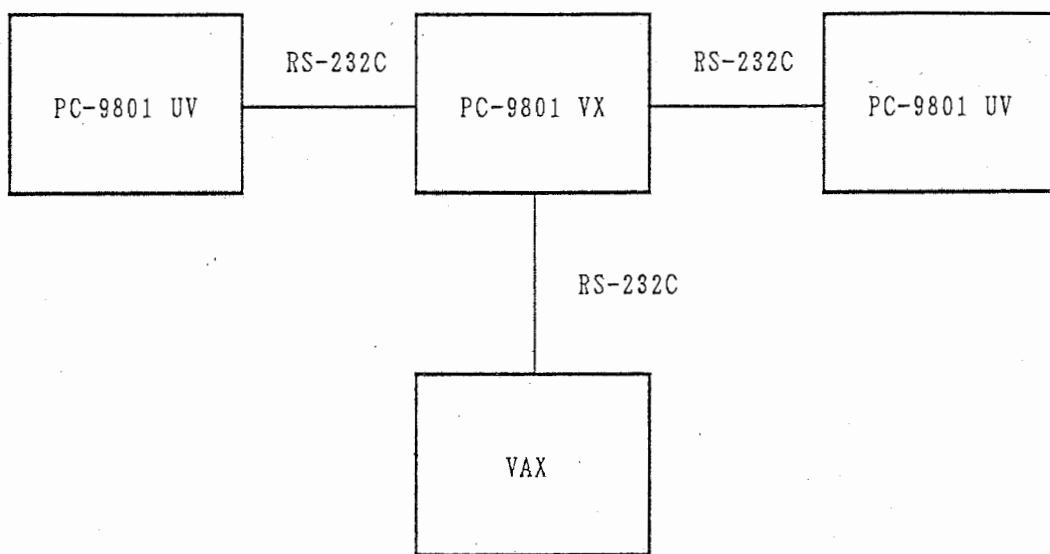
## 第 1 章 システムの立ち上げ手順

- 1 ハードウェアの基本構成----- 1
- 2 プログラムの立ち上げ手順----- 2

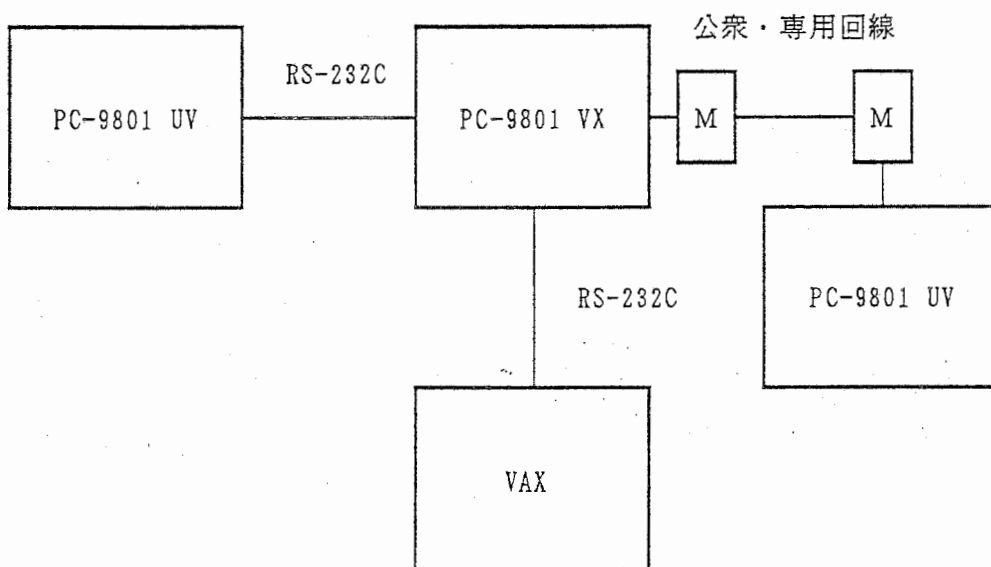
第1章 システムの立ち上げ手順

1 ハードウェアの基本構成

1) ローカル動作時



2) 遠隔地動作時



## 2 プログラムの立ち上げ手順

実行形式のファイルが入っているフロッピー・ディスクをセットして電源を” ON”  
にすると、プログラムがロードされ自動的に立ち上がります。

- ・再起動時の方法について (DOSモードからの立ち上げ)

1) 翻訳端末は、” HOST” と入力して下さい。

2) その他の端末は、” TERM” と入力して下さい。

例) ・翻訳端末の場合

【PROMPT】 HOST

・その他の端末の場合

【PROMPT】 TERM

※ PROMPTは、翻訳端末 (PC-98001 VX) は、  
【HOST】と、その他の端末 (PC-98001 UV) は、  
【TERM】と表示されます。

■が入力された文字です。(小文字でも可)

必ずRETURNキーを入力して下さい。

・ その他の注意

※ 翻訳端末とは、PC-9801 VXを示しています。

以下も同様とします。

※ 端末1、端末2、日/英端末、その他の端末とは、

PC-9801 UVを示しています。

以下も同様とします。

※ ホストとは、VAXを示しています。

以下も同様に称します。

・ 端末の番号について

※ XXX.XXn

n = 0 . . . . 翻訳端末を表わしています。

n = 1 . . . . 端末1を表わしています。

n = 2 . . . . 端末2を表わしています。

以下も同様に称します。

## 第 2 章

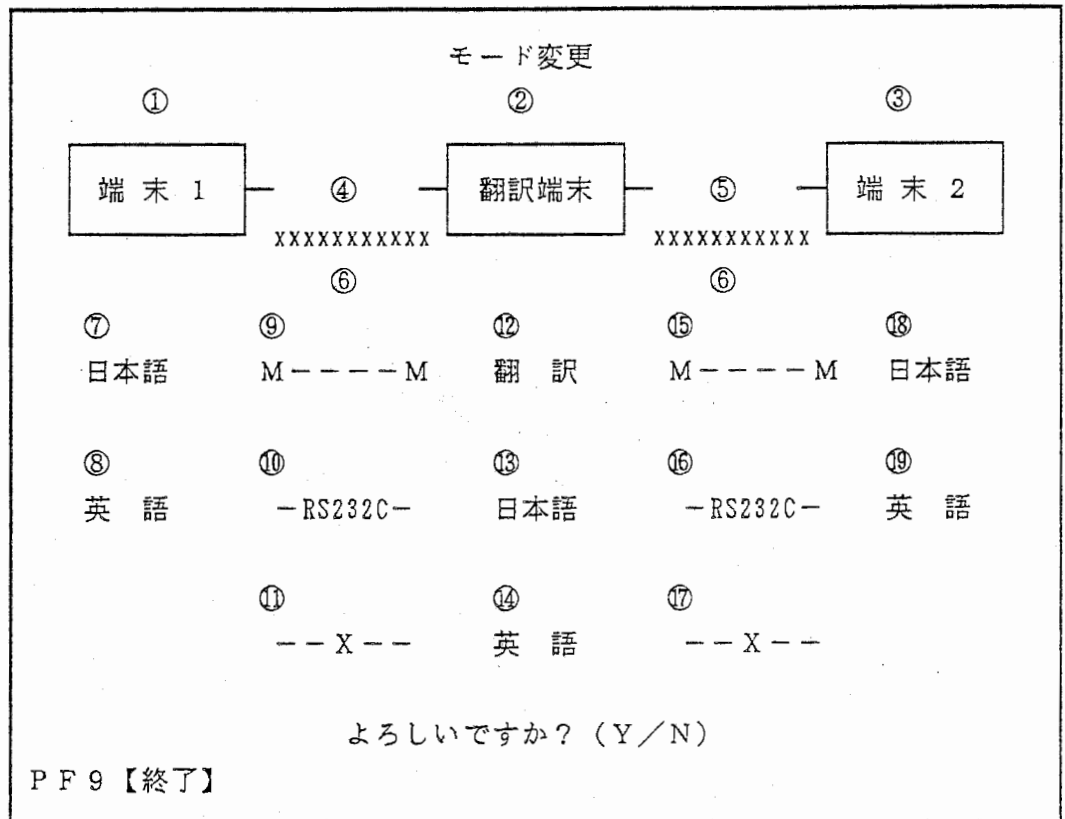
## 翻訳端末を使う場合

1	システムのセットアップ-----	4
2	システムの選択-----	10
3	翻訳付対話システム-----	14
4	対話システム-----	18
5	会話収録ファイル管理システム-----	22
6	メンテナンス-----	37
7	ホスト通信-----	46
8	ファイル転送-----	50

## 第2章 翻訳端末を使う場合

### 1 システムのセットアップ

- モード変更画面（画面NO. 1）



1. 1 モード変更画面 (画面NO. 1) について

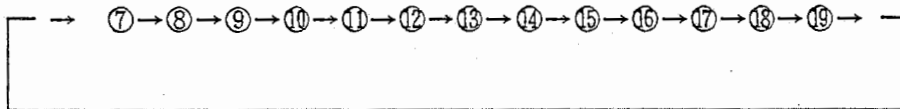
- ①～③ . . . 現在の言語設定が表示されます。
- ④～⑤ . . . 現在の接続設定が表示されます。
- ⑥ . . . 電話番号入力箇所。  
(以前に入力していれば、その電話番号が  
されます。)
- ⑦～⑧ . . . 端末1の言語設定メニューです。
- ⑨～⑩ . . . 端末1と翻訳端末の接続設定メニューです。
- ⑫～⑭ . . . 翻訳端末の言語設定メニューです。
- ⑮～⑰ . . . 翻訳端末と端末2の接続設定メニューです。
- ⑱～⑲ . . . 端末2の言語設定メニューです。

・ 接続設定について

- M-----M (⑨、⑮) . . . モデムを使用。
- RS232C - (⑩、⑯) . . . RS232Cを使用。
- X -- (⑪、⑰) . . . 接続しない。

・ モード変更について

スペースキーで、



の順番で移動します。



## 1. 2 セットアップについて

各端末の言語と接続方法を設定します。

### 1) 現在の設定の見方について

現在の言語設定が①, ②, ③に、接続設定が④, ⑤に表示されます。

接続がモデムになっていると、⑥に前回入力した電話番号が表示されます。

メッセージが、" よろしいですか? (Y/N) " と聞いてきますので、

よければ" Y " キー、設定を変更する場合は" N " キーを、入力して下

さい。

### 2) セットアップについて

上記で設定変更を行なう際に、" N " キーを入力した場合、⑦→⑱の順番で

黄色でリバーズされるので、スペースキーで任意の箇所まで移動し、

RETURNキーで決定して下さい。

### 3) その他

セットアップでモデムを選択すると⑥で電話番号入力待ちになります。

電話番号は、最大11文字です。番号のみ連続で入力して下さい。

※ " - " 等は入力出来ません。

例) 電話番号が06-949-1055の時

入力 → 069491055

### 4) 終了

PF9は、" Y " を入力するまで有効です。

PF9が押されると、DOSモードに戻ります。

1. 3 セットアップ時のモードについて

- 1) 翻訳端末が翻訳モード、他の端末が英語モードと日本語モード。(翻訳付対話)

(翻訳端末、端末1、端末2、3台使用時)

- 2) 翻訳端末が日本語モード、他の端末が日本語モード。(対話)

翻訳端末が、英語モード、他が英語モード。

(翻訳端末、端末1か端末2、2台使用時)

それ以外の設定は無効となり、エラーメッセージが表示され、

再入力待ちとなります。

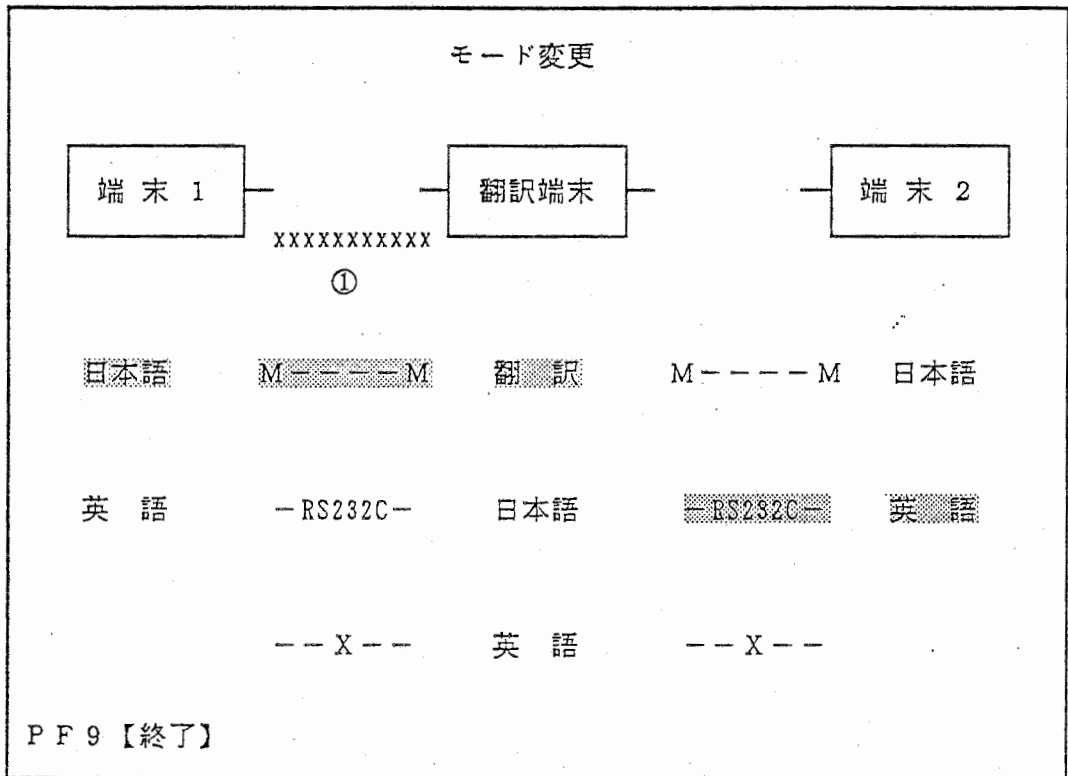
例) 1. 翻訳付対話システムの場合。

I 接続

翻訳端末と端末1を”モデム”で接続希望、翻訳端末と端末2を”RS232C”で接続希望の時。

II 言語

端末1を”日本語”、翻訳端末を”翻訳”、端末2を”英語”に設定したい時。



スペースキーで■の部分を選択されて、リバーズした時に

RETURNキーで決定して下さい。

①の電話番号入力も必ず、行なって下さい。

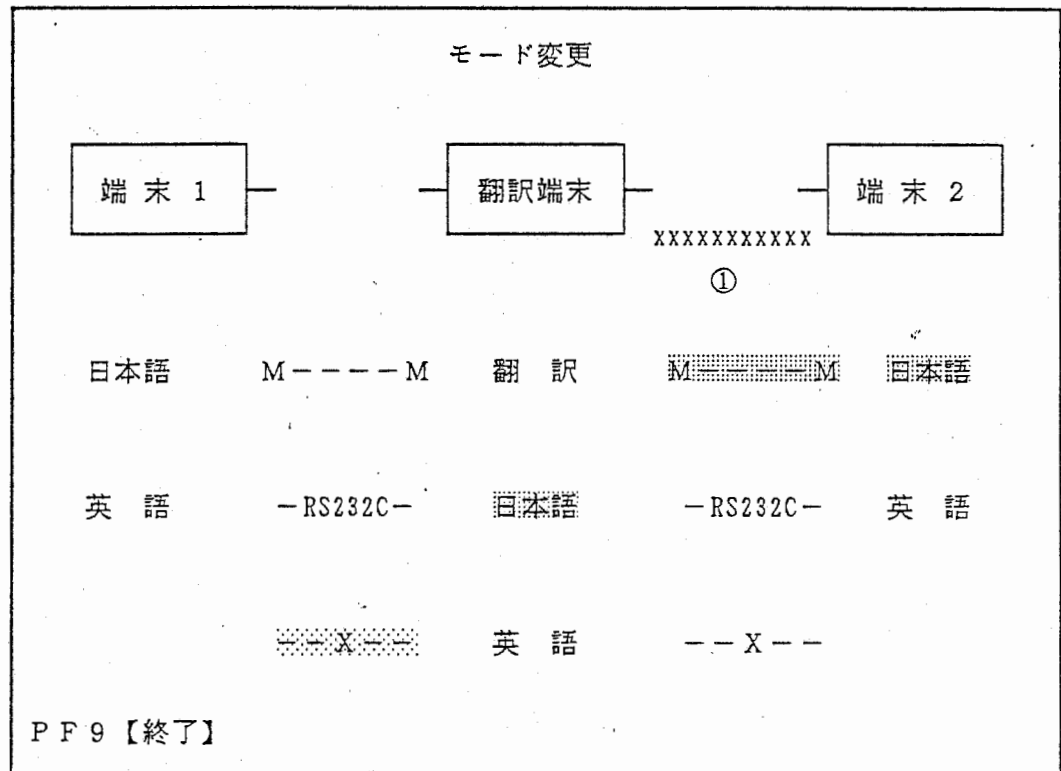
例) 2. 対話システムの場合。

I 接続

翻訳端末と端末2を”モデム”で接続希望、端末1を未使用希望の時。

II 言語

端末2を”日本語”、翻訳端末を”日本語”に設定したい時。



スペースキーでXXXXXXXXXXの部分を選択されて、リバーズした時に

RETURNキーで決定して下さい。

①の電話番号入力も必ず、行なって下さい。

## 2 システムの選択

- ・ システム選択入力画面（画面NO. 3）

言語データベース管理システム (Ver. 2.0)
1 : 翻訳付き対話システム
2 : 対話システム
3 : 会話収録ファイル管理システム
4 : メンテナンス
5 : ホスト通信
6 : ファイル転送
7 : モード変更
8 : 漢字端末エミュレーター
PF9【終了】

### 2.2 システム選択をされる前に・・・

1) 翻訳付対話システム    2) 対話システム    3) 会話収録ファイル管理システム    4) メンテナンスを選択される時は、念のためにディスクの空き領域を確認して下さい。

確認の仕方については、次のページを参照して下さい。

(ファイルをディスク間で移動させる場合は、該当ファイルのサイズと移し先のディスクの空き領域が適当であるか確認しましょう)

○ ディスクの空き領域の確認

- ① HELPキーを押して、MS-DOSのモードに移って下さい。
- ② 【HOST】のプロンプトに続けて次のように入力して下さい。

```
【HOST】DIR
```

- ③ 画面にファイル一覧が表示されたあと、空き領域が表示されます。

```
*****バイトが使用可能です。
```

空き領域が150000バイトより少ない場合、システム作動中に  
作成するファイルの領域が不足するかもしれません。

- ④ 空き領域が少ないときは、実行ファイルディスク中の生データファイル  
タイプ別生データ編集ファイルのうち、今回使用しないものはすべて、  
別のディスクに移して下さい。

(ドライブAに実行ファイルディスクを、ドライブBに移し先のディスクを  
セットした場合       xxxx は情報ファイル名)

```
【HOST】COPY  xxxx. *   B :
xxx. HST
xxx. INF
.
.
【HOST】DEL  xxxx. *
【HOST】EXIT
```

## 2. 2 システムの選択入力について

これから使用するシステムを選択し、その番号を入力します。

### 1) 翻訳付対話システム

翻訳端末を翻訳に、端末1、端末2を各々英語か日本語に、設定して  
使用します。

### 2) 対話システム

翻訳端末と端末1、端末2のいずれかを使用します。

### 3) 会話収録ファイル管理システム

会話後のデータを編集して、8タイプのリストを作成します。

### 4) メンテナンス

3で編集したリストや、生データ加工ファイルをリストアウトせずに  
確認したい場合や、変更を加える時に使用します。

(3で編集していないリストは、メンテナンス出来ません。)

(生データ加工ファイルは編集の必要は有りません。)

### 5) ホスト通信

生データ加工ファイル、入力情報ファイルをホストに送信します。

また、漢字端末エミュレーターに入る事も出来ます。

### 6) ファイル転送

3で編集した結果を端末1、端末2に送信します。

(3で編集していないリストは、送信出来ません。)

7) モード変更

”セットアップ”時の設定を、変更します。

8) 漢字端末エミュレーターモード

漢字端末エミュレーターモードに入ります。

漢字端末エミュレーターモード中の操作は、エミュレーターのマニュアルを参照して下さい。

9) 終了

PF9は、番号入力まで有効です。

PF9が押されると、DOSモードに戻ります。



### 3 翻訳付対話システム

#### 3.1 翻訳者の情報入力

- ・ 翻訳者情報入力画面（画面NO. 4）

翻訳者情報入力	
氏名	: [            ]
国籍	: [        ]
年齢	: [    ]
所属	: [            ]
情報ファイル名	: [            ]

PF9【終了】

## 翻訳者情報入力について

### 1) 氏名入力

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

### 2) 国籍入力

全角5文字、半角10文字以内で入力して下さい。

### 3) 年齢入力

半角2文字以内で入力して下さい。

### 4) 所属入力

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

### 5) 情報ファイル名入力

半角8文字以内で入力して下さい。

情報ファイル名を入力しないと次画面には、進みません。

※ 拡張子はつけないで下さい。

### 6) 終了

P F 9 は、情報ファイル名を入力するまで有効です。

P F 9 が押されると、システム選択入力画面（画面NO. 3）に

戻ります。

3. 2 翻訳端末の会話

- ・ 翻訳画面（画面NO. 7）

翻訳端末		[XXXXXXXX]
ENGLISH	日本語	

PF1【件数】 PF3【送信】 PF6【画面切替】 PF9【終了】

※ XXXXXXX : 情報ファイル名

## 翻訳端末会話について

### 1) 割り込み受信

他の端末から割り込みを受けると、割り込みを受けた文字列は赤色で表示されます。

### 2) 割り込み送信

翻訳端末から、他の端末に割り込み送信を行なうと、割り込み送信をした文字列は水色で表示されます。

### 3) 通常送信と受信

通常を送信、受信は白色で表示されます。

### 4) 送信権

① 文字列を入力後は、必ず P F 3 キーで送信権を移動させて下さい。

(RETURN キーでは送信権は、移動しません。)

② 最初は、翻訳端末からは送信出来ません。

必ず他の端末から送信して下さい。

### 5) 終了

P F 9 で会話モードを抜けて、システム選択入力画面 (画面 NO. 3) に戻ります。

ファンクションキーについては、<第4章 ソフトキーの操作>を参照して下さい。

## 4 対話システム

### 4.1 翻訳者の情報入力

- ・ 翻訳者情報入力画面（画面NO. 4）

翻訳者情報入力	
氏名	: [            ]
国籍	: [        ]
年齢	: [    ]
所属	: [            ]
情報ファイル名	: [            ]

PF9【終了】

## 翻訳者情報入力について

### 1) 氏名入力

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

### 2) 国籍入力

全角5文字、半角10文字以内で入力して下さい。

### 3) 年齢入力

半角2文字以内で入力して下さい。

### 4) 所属入力

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

### 5) 情報ファイル名入力

半角8文字以内で入力して下さい。

情報ファイル名を入力しないと次画面には、進みません。

※ 拡張子はつけないで下さい。

### 6) 終了

PF9は、情報ファイル名を入力するまで有効です。

PF9が押されると、システム選択入力画面(画面NO. 3)に

戻ります。

入力後、その他の端末の利用者が情報を入力完了するまでしばらくお待ち下さい。

4. 2 翻訳者（日本語／英語）の会話

- 日本語端末画面（画面NO. 8）

日本語端末	
送信パネル	受信パネル

PF1【件数】 PF3【送信】 PF9【終了】

- 英語端末画面（画面NO. 9）

ENGLISH TERMINAL	
Transmission Panel	Receive Panel

PF1【RECNUM】 PF3【SEND】 PF9【END】

## 翻訳者（日本語／英語）の会話について

### 1) 割り込み受信

翻訳端末及び他の端末の画面では文字の色は変わらないのでリストでしか確認できません。

### 2) 割り込み送信

同上

### 3) 通常送信と受信

通常を送信、受信は白色で表示されます。

（割り込み時と変わりません）

### 4) 送信権

① 文字列を入力後は、必ずPF3キーで送信権を移動させて下さい。

（RETURNキーでは送信権は、移動しません。）

② 最初の送信権は翻訳端末、他の端末の両方に有ります。

但し、どちらかの端末が先に入力した場合、先に入力した端末が送信権を持ちます。

### 5) 終了

PF9で会話モードを抜けて、システム選択入力画面（画面NO. 3）に戻ります。

ファンクションキーについては、＜第4章 ソフトキーの操作＞を参照して下さい。



## 5 会話収録ファイル管理システム

### 会話収録ファイル管理メニュー（画面NO. 10）

会話収録ファイル管理システム	
	情報ファイル名 [            ]
1 :	日英対訳リスト
2 :	日本語端末日本文リスト
3 :	英語端末英文リスト
4 :	端末別出力（日本語端末）リスト
5 :	端末別出力（英語端末）リスト
6 :	端末別出力（翻訳端末）リスト
7 :	時間対応の端末別リスト
8 :	時間対応の端末別リスト（圧縮版）
9 :	生データ参照用プルーフリスト
PF9【終了】	

#### 5.1 メニューの選択

”\*”を入力すると、翻訳端末を立ち上げたデバイス・ディレクトリ上に  
現在ある情報ファイル名が [    ] の中に表示されます。

スペースキーで、次のファイル名が表示されますのでRETURNキーで決定し  
て下さい。

選択したファイル名で、リストが有ればそのメニュー部分がリバーズ表示されます。

メニューから作成したいリストの番号を入力します。

番号を入力すると、”◎”が選択された番号の左に表示されます。

PF9は、情報ファイル名を入力するまで有効です。

PF9が押されると、システム選択入力画面（画面NO. 3）に  
戻ります。

例1) 情報ファイル名が”CASE1”で、以前に”日英対訳リスト”と

”生データ参照ブルーリスト”を作成していた場合。

会話収録ファイル管理システム	
情報ファイル名 [CASE1 ]	
1	: 日英対訳リスト
2	: 日本語端末日本文リスト
3	: 英語端末英文リスト
4	: 端末別出力(日本語端末)リスト
5	: 端末別出力(英語端末)リスト
6	: 端末別出力(翻訳端末)リスト
◎ 7	: 時間対応の端末別リスト
8	: 時間対応の端末別リスト(圧縮版)
9	: 生データ参照用ブルーリスト
処理を選択してください [ ]	
PF9【終了】	

※ の部分がリバースです。

リバースしているリストが以前に作成された事を現わしています。

次に、”時間対応の端末別リスト”を作成する場合は、

処理の選択で、”7”を入力して下さい。

入力後、番号の左に”◎”が表示されます。

(リバースしていないリスト番号も、選択出来ます。)

例2) 情報ファイル用の別ディスクをご使用の場合

ドライブAに実行ディスクファイルを、ドライブBに情報ファイル専用ディスクを  
セットしていた場合。

- ① オプションの”\*”入力は、翻訳端末を立ち上げたデバイス・ディレクトリ上に  
現在ある情報ファイル名を [ ] の中に表示します。

ドライブBのファイルを指定されるときは、直に情報ファイル名を入力して  
下さい。

情報ファイル名が”CASE2”で、以前に”日英対訳リスト”と  
”生データ参照ブルーリスト”を作成していた場合。

会話収録ファイル管理システム	
情報ファイル名 [B:CASE2 ]	
1: 日英対訳リスト	
2: 日本語端末日本文リスト	
3: 英語端末英文リスト	
4: 端末別出力(日本語端末)リスト	
5: 端末別出力(英語端末)リスト	
6: 端末別出力(翻訳端末)リスト	
◎ 7: 時間対応の端末別リスト	
8: 時間対応の端末別リスト(圧縮版)	
9: 生データ参照用ブルーリスト	
処理を選択してください [ ]	
PF9【終了】	

※ の部分がリバースです。

以下は例1の場合と同様です。情報ファイルはドライブBに作成されます。

情報ファイルがドライブBのあるディレクトリ下にある場合の例を次に示します。

- 1) H E L Pキーを押して、MS-DOSのモードに移って下さい。
- 2) 【H O S T】のプロンプトに続けて次のように入力して下さい。

```
【H O S T】 B :  
  
【H O S T】 C D   x x x  
  
【H O S T】 E X I T
```

以下は先の要領と同じです。

- ② ドライブBの情報ファイル名が半角7文字以上の場合

情報ファイル名を入力することができません。

ドライブBの該当ファイルを実行ファイルディスクのドライブAに

コピーして下さい。

- 1) H E L Pキーを押して、MS-DOSのモードに移って下さい。
- 2) 【H O S T】のプロンプトに続けて次の要領で該当の情報ファイルを実行ファイルディスクの入ったドライブAにコピーして下さい。

```
【H O S T】 B :  
  
【H O S T】 C O P Y   x x x x . *   A :  
  
【H O S T】 E X I T
```

以下は例1の場合と同様です。情報ファイルはドライブAに作成されます。

## 5.2 リストの印刷

リストの作成が終了すると、”印刷しますか？(Yes/No)”と表示  
されます。

印刷される時はレーザー・プリンタの設定を確認された上で”Y”を、印刷を  
されない時は、”N”を入力して下さい。

”N”で再度”情報入力ファイル名を入力して下さい。”と表示されます。

再度リストを作成しない時は、PF9で終了して下さい。

※ レーザー・プリンタの設定については、第8章プリンタ出力を参照して下さい。

5. 3 リストのフォーマット

・ 表紙 (共通ヘッダー)

			( 1 )
			YY/MM/DD(days)
			HH:MM:SS
			( 2 )
		***** 会話収録リスト *****	
			[ x x x x x x x x ] ( 3 )
	端末 1	翻訳	端末 2
	( 4 )	( 5 )	( 6 )
	x x x x x x x	x x x x x x x	x x x x x x x
	( 7 )	( 8 )	( 9 )
	x x x x x x x	x x x x x x x	x x x x x x x
	(10)	(11)	(12)
	x x x x x x x	x x x x x x x	x x x x x x x

- 1 : 翻訳付対話システム用処理日付 (システム日付)
- 2 : " 開始時間 (システム時間)
- 3 : 出力ファイル名
- 4 : 端末1用言語
- 5 : 翻訳 "
- 6 : 端末2 "
- 7 : 端末1用氏名
- 8 : 翻訳 "
- 9 : 端末2 "
- 10 : 端末1用所属
- 11 : 翻訳 "
- 12 : 端末2 "

日英対訳リスト (リストNO. 1)

日英対訳リスト		
HH:MM:SS PAGE. zz9		
※ [xxxxxxxx]		
文番号	ENGLISH	日本語
1	Hello.	*もしもし。
2	*Yes.	はい。
3	I under . . .	*第一回 . . .

日本語端末日本文リスト (リストNO. 2)

日本語端末日本文リスト	
HH:MM:SS PAGE. zz9	
※ [xxxxxxxx]	
文番号	日本文
1	*もしもし。
2	はい。
3	*第一回 . . .

※ xxxxxxxx : 情報ファイル名

・ 英語端末英文リスト (リストNO. 3)

英語端末英文リスト	
HH:MM:SS PAGE. zz9	
※ [xxxxxxxx]	
文番号	英文
1	Hello.
2	* Yes.
3	I under . . .

・ 端末別出力 (日本語端末) リスト (リストNO. 4)

端末別出力 (日本語端末) リスト		
HH:MM:SS PAGE. zz9		
※ [xxxxxxxx]		
文番号	送信パネル	受信パネル
1	*	もしもし。
2	はい。	*
3	*	第一回 . . .

※ xxxxxxxx : 情報ファイル名



・ 端末別出力（英語端末）リスト（リストNO. 5）

端末別出力（英語端末）リスト		
HH:MM:SS PAGE. zz9		
※ [xxxxxxxx]		
文番号	Transmission Panel	Receive Panel
1	H e l l o .	*
2	*	Y e s .
3	I u n d e r . . . .	*

・ 端末別出力（翻訳端末）リスト（リストNO. 6）

端末別出力（翻訳端末）リスト		
HH:MM:SS PAGE. zz9		
※ [xxxxxxxx]		
文番号	日本語訳	英語訳
1	もしもし。	*
2	*	Y e s .
3	第一回 . . .	*

※ xxxxxxxx : 情報ファイル名

時間対応の端末別出力リスト (リストNO. 7)

時間対応の端末別出力リスト			
HH:MM:SS PAGE. zz9			
※ [xxxxxxxx]			
時刻	ENGLISH	翻訳文	日本語
99:99:99	Hel l o .		
99:99:99		もしもし。	
99:99:99			はい。
99:99:99		Y e s .	
99:99:99	I u n d e r .		
	..		

時間対応の端末別出力リスト (圧縮版) (リストNO. 8)

時間対応の端末別出力リスト (圧縮版)			
HH:MM:SS PAGE. zz9			
※ [xxxxxxxx]			
時刻	ENGLISH	翻訳文	日本語
99:99:99	Hel l o .	もしもし。	*
99:99:99	*	Y e s .	はい。
99:99:99	I u n d e r .	第一回 . . .	*
	..		

※ xxxxxxxx : 情報ファイル名

- ・ リストNO. 1 ~ リストNO. 8について

※ 割り込みについて

- 1) リストNO. 1~リストNO. 6

割り込みをされた文字列は、”【 】”で囲まれて表示されます。

例) 【Hello.】

”Hello.”という文字列の割り込みを受けた事を  
現わします。

- 2) リストNO. 7とリストNO. 8割り込みを受けた時間と、

文字列を”【 】”で囲んで表示します。

例) 【10:11:12:もしもし】

10時11分12秒に”もしもし”という、文字列の割り込み  
を受けた事を現わします。

※ 特殊コード (BS、DEL、左右の矢印キー) について

文字列を編集して表示しますのでリスト上には、表示されません。

(特殊コードを確認する場合は、プルーフリストで確認して下さい。)

※ その他

HH:MM:SSは、最初の文章が入力された時間です。

※ ”\*”マークについて

1) リストNO. 1～リストNO. 3

翻訳端末から送信された文字列を現わします。

2) リストNO. 4～リストNO. 8

データの無い箇所を埋めます。

生データ参照用プルーフリスト (リストNO. 9)

PAGE. zz9				
※ [ xxxxxxxx ]				
送信権	言語	開始時間	DATA	終了時間
端 翻 端				
末 末				
1 訳 2				
○→	日本語	99:99:99	もしもし。	99:99:99
○→	英語	99:99:99	Hello.	99:99:99
←○	英語	99:99:99	Yes.	99:99:99

※ xxxxxxxx : 情報ファイル名

・ プルーフリストについて

1) 送信権

その時の送信権の状態を現わしています。

丸印のある端末が、送信権を持っており、矢印で示される端末へ送信した事を、現わしています。

2) 言語

その時の言語の種類を現わしています。

3) 開始時間

文章入力時、先頭の文字が入力された時間を現わしています。

4) 文番号

その時の文章の文番号を現わしています。

5) DATA

実際に入力された文字と特殊キーを現わしています。

6) 終了時間

文章入力後、PF3キーが入力された時間を現わしています。

※ 特殊コード（BS、DEL、左右の矢印キー）について

BSキー . . . △ マークで表示されます。

DELキー . . . ▼ マークで表示されます。

左の矢印キー . . . ← マークで表示されます。

右の矢印キー . . . → マークで表示されます。

※ 割り込みについて

割り込みされた文字列は、”【 】”で囲まれて表示されます。

送信権の箇所を現わす丸印が、割り込みを受けると黒丸になります。

例)

送信権      DATA

○→      Hello.      . . .      通常状態

●→      【もしもし】      . . .      割り込み状態

## 6 メンテナンス

### メンテナンス画面 (画面NO. 11)

メンテナンス	
	情報ファイル名 [            ]
1 :	日英対訳リスト
2 :	日本語端末日本文リスト
3 :	英語端末英文リスト
4 :	端末別出力 (日本語端末) リスト
5 :	端末別出力 (英語端末) リスト
6 :	端末別出力 (翻訳端末) リスト
7 :	時間対応の端末別リスト
8 :	時間対応の端末別リスト (圧縮版)
9 :	生データ参照用ブルーリスト
A :	生データ加工ファイル (翻訳端末)
B :	(端末1)
C :	(端末2)
PF9【終了】	

#### 6.1 メンテナンスについて

メンテナンスとは、会話の結果を編集したリスト (NO. 1~NO. 9) と生データ加工ファイルに手を加える、またはリストアウトせずにリストを確認したい様な時に、使用します。

リストの番号を入力すると、エディター (MIFES) が起動します。

情報ファイル名を入力した時に、リバースしていないリストはメンテナンス出来ません。(会話編集ファイルのみ)

(“会話収録ファイルが見つかりません”とエラーメッセージが表示されます。)



※ 情報ファイル名を入力した時に、リバーズしていないリストは、会話の結果が未編集です。

(会話の結果を編集するのは、“会話収録ファイル管理システム”で行なって下さい。“生データ加工ファイル”はリバーズしませんメンテナンス可能です。)

## 6. 2 メニューの選択

“\*”を入力すると、翻訳端末を立ち上げたデバイス・ディレクトリ上に現在あるファイル名が [ ] の中に表示されます。

スペースキーで、次のファイル名が表示されますのでRETURNキーで決定して下さい。

直に情報ファイル名を入力される場合は、拡張子をつけないでファイル名を入力して下さい。

選択したファイル名で、リストが有ればそのメニュー部分がリバーズ表示されます。

メニューからメンテナンスしたいリストの番号を入力します。

入力された番号の左に“◎”が表示されます。

※ PF 9 は、情報ファイル名を入力するまで有効です。

PF 9 が押されると、前画面に戻ります。(画面NO. 3)

## 6. 3 リストの印刷

エディターを終了させると、“印刷しますか？(Yes/No)”と表示されます。

印刷されるときは“Y”を、そのまま抜けられるときは、“N”を入力してPF 9で終了して下さい。( ページ 5. 2 の要領と同じです。)

例) 情報ファイル名が、”CASE2”で、”日英対訳リスト”を  
メンテナンスしたい場合。

メンテナンス	
情報ファイル名 [CASE2 ]	
1 :	日英対訳リスト
2 :	日本語端末日本文リスト
3 :	英語端末英文リスト
4 :	端末別出力 (日本語端末) リスト
5 :	端末別出力 (英語端末) リスト
6 :	端末別出力 (翻訳端末) リスト
7 :	時間対応の端末別リスト
8 :	時間対応の端末別リスト (圧縮版)
9 :	生データ参照用プルーフリスト
A :	生データ加工ファイル (翻訳端末)
B :	(端末1)
C :	(端末2)

PF9【終了】

※ がリバースの部分です。

従って、”日本語端末日本文リスト”、”時間対応の端末別リスト”、

”生データ参照用プルーフリスト”以外は、未編集なので”会話収録

ファイル管理システム”で、”日英対訳リスト”を作成して下さい。

(この場合、PF9で終了させて、システム選択入力画面で”3:会話

収録ファイル管理システム”で、”日英対訳リスト”を作成して下さ

い。)

例) 情報ファイル名が、”CASE3”で、”生データ加工ファイル(端末1)”  
をメンテナンスしたい場合。

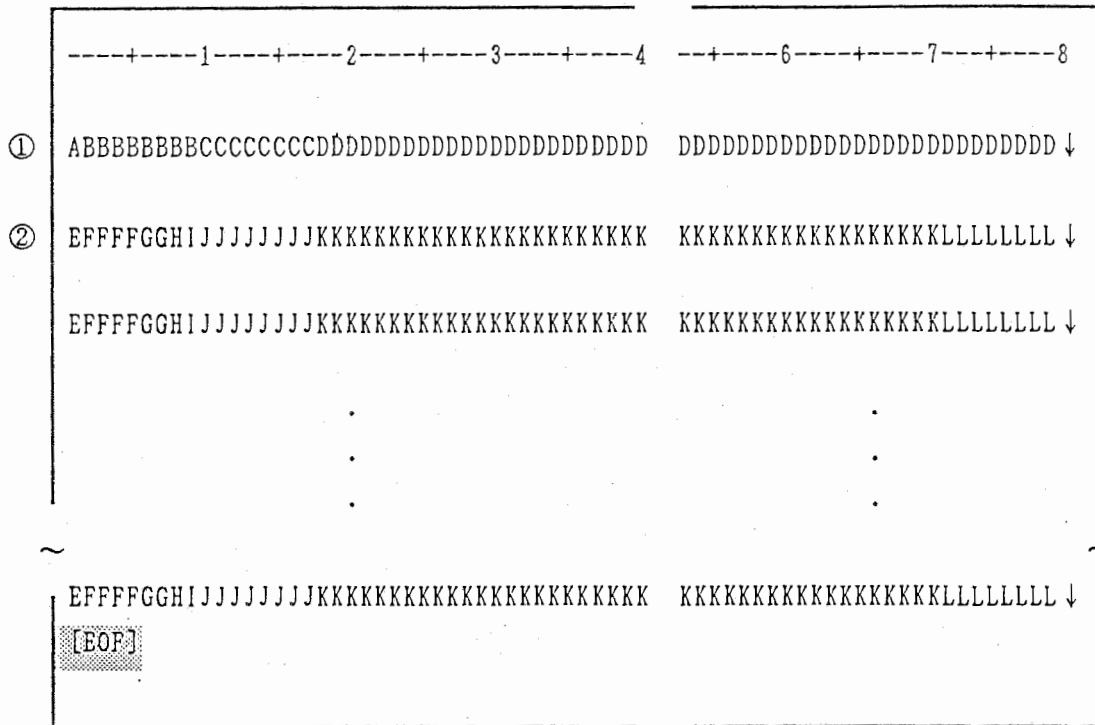
メンテナンス	
情報ファイル名 [CASE3 ]	
1 :	日英対訳リスト
2 :	日本語端末日本文リスト
3 :	英語端末英文リスト
4 :	端末別出力(日本語端末)リスト
5 :	端末別出力(英語端末)リスト
6 :	端末別出力(翻訳端末)リスト
7 :	時間対応の端末別リスト
8 :	時間対応の端末別リスト(圧縮版)
9 :	生データ参照用プルーフリスト
A : 生データ加工ファイル(翻訳端末)	
◎ B :	(端末1)
C :	(端末2)

PF9【終了】

※ がリバースの部分です。

従って、”日本語端末日本文リスト”、”時間対応の端末別リスト”、  
”生データ参照用プルーフリスト”以外は、未編集ですが、  
生データ加工ファイルは会話終了後には作成されているので”B”を  
選択して下さい。選択された番号の左に”◎”が表示されます。

6. 4 生データ加工ファイルのメンテナンスについて



- ① . . . 【A】 ファイルヘッダー区分 ' 1 '
- 【B】 処理日付                   YY/MM/DD
- 【C】 開始時間               HH:MM:SS
- 【D】 空白
  
- ② . . . 【E】 生データ継続フラグ   継続 ' - '
- 以外 ' '
- 【F】 文番号
- 【G】 送信権
- 【H】 言語                   日本語 ' J '
- 英語 ' E '
- 【I】 割り込みフラグ
- 【J】 時間                   HH:MM:SS
- 【K】 生データ (加工済)
- 【L】 終了時間               HH:MM:SS

補足 【F】～【J】は、生データの先頭レコードのみ存在する。

【L】は、生データの最終レコードのみ存在する。

(例)

-----+-----1-----+-----2-----+. . +-----7-----+-----8
-000101J088:10:10もしもし。 何でし ↓
よ　う　か　？　。                                  88:10:12 ↓

生データ加工ファイルの種類

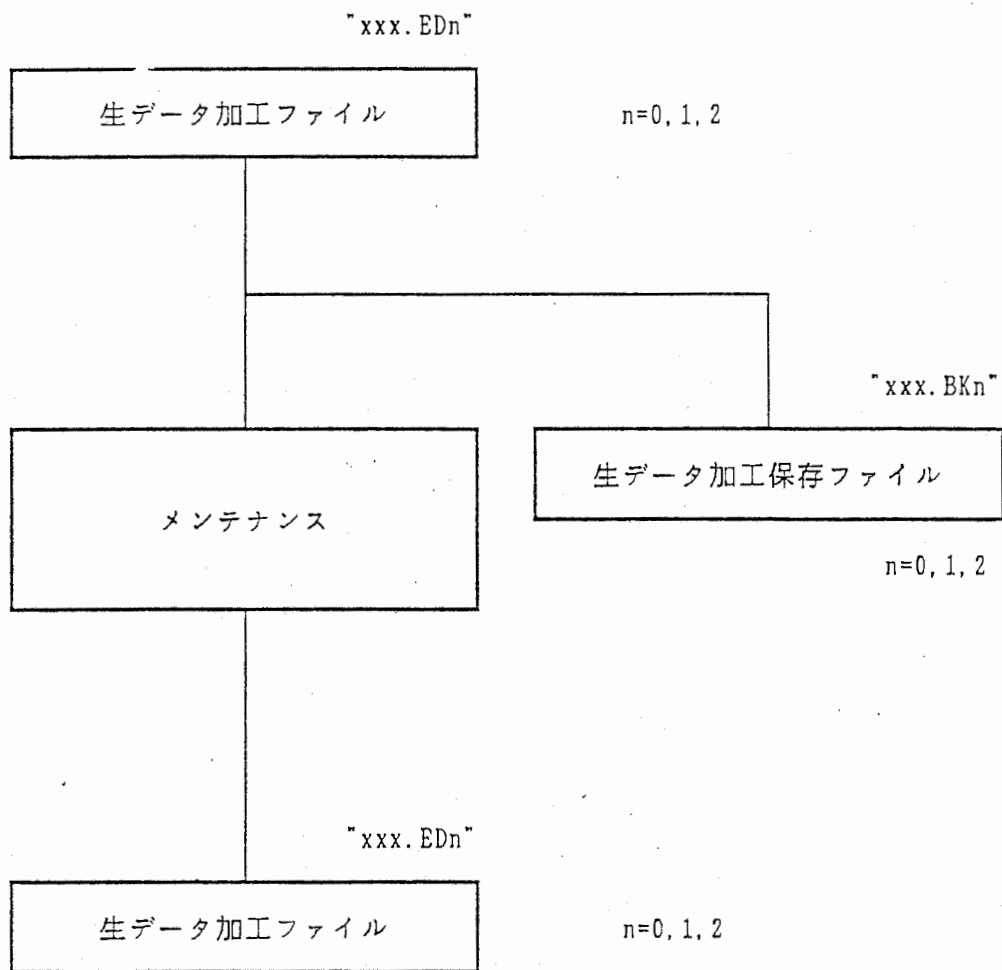
- I 翻訳端末の生データ加工ファイル . . . x x x . E D 0
- II 端末1の生データ加工ファイル . . . x x x . E D 1
- III 端末2の生データ加工ファイル . . . x x x . E D 2

x x x : 情報ファイル名

★メンテナンス（生データ加工ファイル対象）についての補足

1) メンテナンス処理時の自動バックアップ機能

メンテナンス処理立ち上げ時に、生データ加工保存ファイルが作成されます。



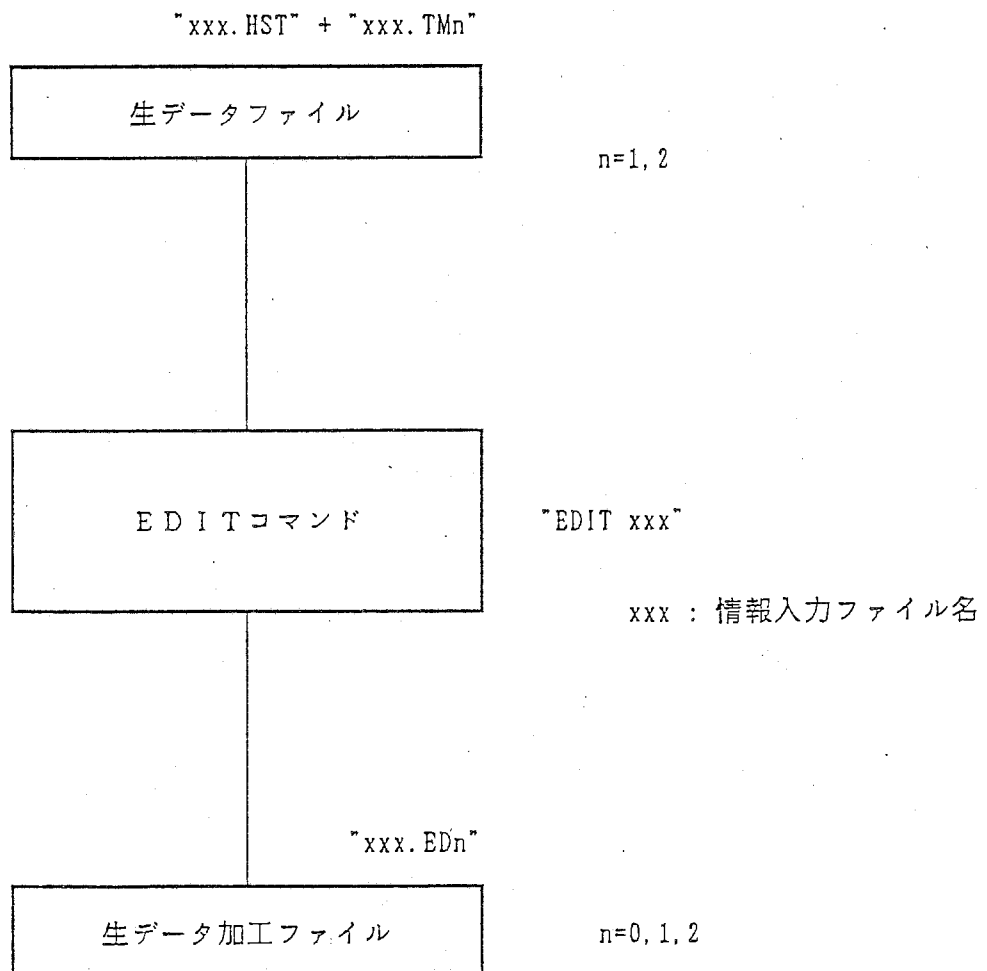
2) 生データ加工ファイルの初期状態への復帰機能

EDITコマンド

機能 もし、生データのメンテナンス時にメンテナンスに失敗して生データ加工  
ファイルを壊した時に、生データから再度生データ加工ファイルを作成します。  
但し、生データファイルが存在していないと復帰出来ません。

書式 DOSモードで、"EDIT xxx" と入力して下さい。  
拡張子はつけないで下さい。

xxx : 情報ファイル名 (拡張子なし)

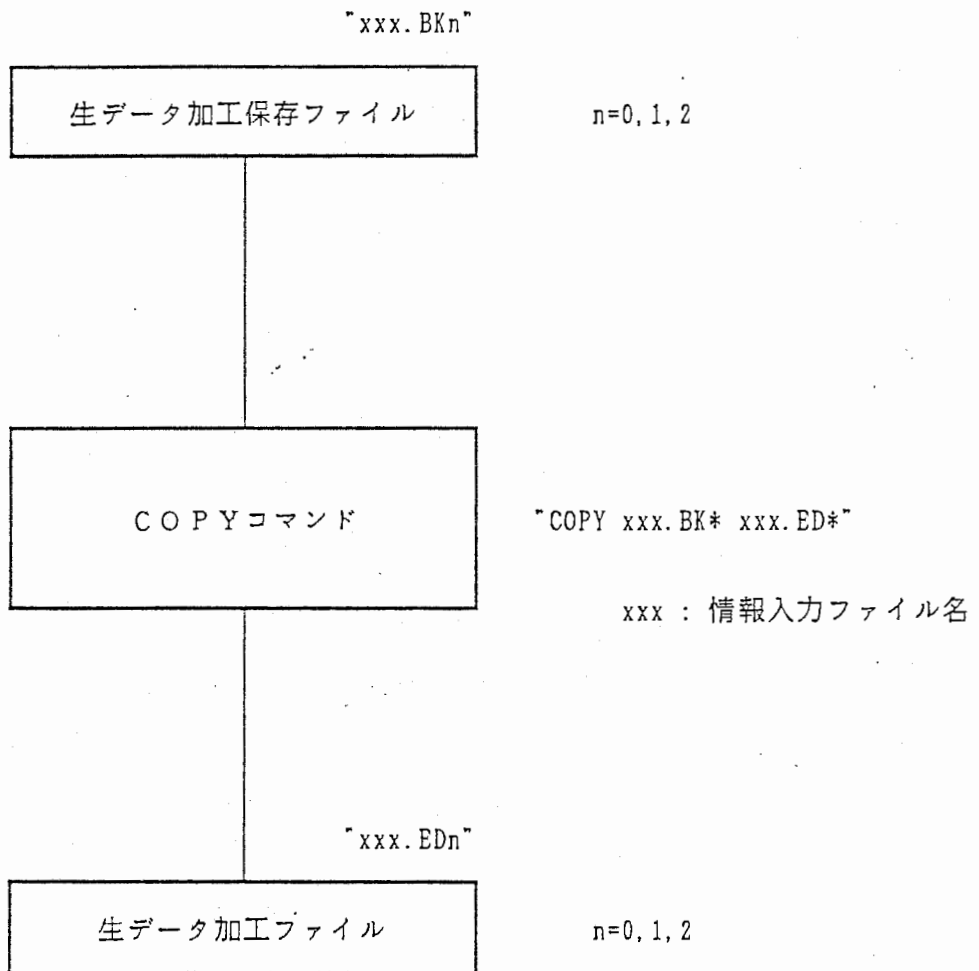


3) 生データ加工保存ファイルの復帰機能

もし、生データのメンテナンス時にメンテナンスに失敗して生データ加工ファイルを壊した時に、バックアップの生データ加工保存ファイルから生データ加工ファイルを作成します。

DOSモードで、"COPY xxx.BK\* xxx.ED\*" と入力して下さい。

xxx : 情報ファイル名





## 7 ホスト通信

- ・ ホスト通信用パラメータ設定 (画面NO. 12)

ホスト通信用パラメータ設定	
デバイス名	: [ c ]
ユーザーID	: [ ]
パスワード	: [ ]
ディレクトリー	: [ cd / ]

PF9【終了】

- ・ ホスト通信 (画面NO. 13)

ホスト通信	
	情報ファイル名 [ ]
0	: 情報入力ファイル+生データ加工ファイル
1	: 生データ加工ファイル (翻訳端末)
2	: (端末1)
3	: (端末2)

PF9【終了】

## 7. 1 ホスト通信用パラメータ設定について

### 1) デバイス名

半角 8 文字以内で入力して下さい。(必ず入力して下さい。)

### 2) ユーザー I D

半角 8 文字以内で入力して下さい。(必ず入力して下さい。)

(入力後、“よろしいですか？(Y s e / N o)”と聞いてきますので、よければ“Y”、再入力したい時は、“N”を入力して下さい。)

### 3) パスワード

半角 8 文字以内で入力して下さい。

### 4) ディレクトリー

半角 2 0 文字以内で入力して下さい。

※ 前回入力されたユーザー I D、パスワード、ディレクトリーがあればそのユーザー I D、パスワード、ディレクトリーを表示します。

### 5) エラーメッセージについて

接続不良の場合、“ホスト端末と接続されていません”と表示されます。

エラーメッセージが出ている状態でホスト端末と接続されると次画面に進みます。

接続エラーが無ければ、次画面に進みます。

※ 1 のユーザー I Dを入力しないと、“ユーザー I Dを必ず設定して下さい”とエラーメッセージが表示されます。

6) 情報ファイル名入力について

”\*”を入力すると、翻訳端末を立ち上げたデバイス・ディレクトリ上に現在あるファイル名が [ ] の中に表示されます。

スペースキーで、次のファイル名が表示されるのでRETURNキーで決定して下さい。

ホストへ送信したいファイルの番号を入力します。

選択された番号の左に”◎”が表示されます。

7. 2 転送中のメッセージについて

① 情報入力ファイル転送中 [ x x x x ]

② 翻訳端末ファイル転送中 [ x x x x ]

③ 端末1ファイル転送中 [ x x x x ]

④ 端末2ファイル転送中 [ x x x x ]

x x x x とは、

[ 現在転送しているByte数 / 送信するファイルのByte数 ]

のメッセージです。

7. 3 終了及びキャンセル

PF9で終了及びキャンセルします。

終了及びキャンセルすると自動的にシステム選択入力画面(画面NO. 3)

に戻ります。

キャンセル時は、”x x xファイル転送の中断処理中です。”と表示されます。

例) ホスト端末へ、情報ファイル名”CASE3”の”生データ加工ファイル  
(翻訳端末)”を転送する場合。

ホスト通信	
	情報ファイル名 [CASE3 ]
0 : 情報入力ファイル+生データ加工ファイル	
◎	1 : 生データ加工ファイル (翻訳端末)
	2 : (端末1)
	3 : (端末2)
PF9【終了】	

”1”を入力して下さい。

番号を入力すると番号の左に”◎”が表示されます。

転送中メッセージが表示されます。

ホスト端末へデータの転送が終了すると、”情報ファイル名を入力して下さい。”と再度表示されます。再度ホストへデータを転送しない場合は、

PF9で抜けて下さい。

8 ファイル転送

- ・ ファイル転送 (画面NO. 14)

ファイル転送	
	情報ファイル名 [            ]
1 :	日英対訳リスト
2 :	日本語端末日本文リスト
3 :	英語端末英文リスト
4 :	端末別出力 (日本語端末) リスト
5 :	端末別出力 (英語端末) リスト
6 :	端末別出力 (翻訳端末) リスト
7 :	時間対応の端末別リスト
8 :	時間対応の端末別リスト (圧縮版)
9 :	生データ参照用プループリスト
PF9 【終了】	

### 8. 1 情報ファイル名入力について

”\*”を入力すると、翻訳端末を立ち上げたデバイス・ディレクトリ上に現在あるファイル名が [ ] の中に表示されます。

スペースキーで、次のファイル名が表示されますのでRETURNキーで決定して下さい。

選択したファイル名で、リストが有ればそのメニュー部分がリバーズ表示されます。

メニューから転送したいリストの番号を入力します。

入力された番号の左に”◎”が表示されます。

リバーズしていないリスト番号は、選択出来ません。

(”会話収録ファイルが見つかりません”とエラーメッセージが表示されます。)

### 8. 2 端末の選択について

端末1に送信するか、端末2に送信するかを聞いて来ますので、端末を選択して下さい。

※ セットアップ時に、1方の端末を未使用に設定して、その端末を選択すると

”ファイル転送先の端末は定義されていません”とエラーメッセージが表示されます。

### 8. 3 転送中メッセージについて

[ 現在転送しているByte数 / 送信するファイルのByte数 ]

が表示されます。

### 8. 4 終了及びキャンセル

P F 9 で終了及びキャンセルします。

終了及びキャンセルすると自動的にシステム選択入力画面（画面NO. 3）

に戻ります。

### 第3章

### 日／英端末を使う場合

1	システムのセットアップ-----	54
2	対話システム-----	55



例) 情報ファイル名”CASE3”で、”英語端末英文リスト”を端末1に

転送する場合。

ファイル転送
情報ファイル名 [CASE3 ]
1 : 日英対訳リスト
2 : 日本語端末日本文リスト
◎ 3 : 英語端末英文リスト
4 : 端末別出力 (日本語端末) リスト
5 : 端末別出力 (英語端末) リスト
6 : 端末別出力 (翻訳端末) リスト
7 : 時間対応の端末別リスト
8 : 時間対応の端末別リスト (圧縮版)
9 : 生データ参照用プルーフリスト
転送先の端末IDを選択して下さい。
1 = 【端末1】      2 = 【端末2】
PF9 【終了】

※ の部分がリバースの部分です。

この場合、”英語端末英文リスト”は、リバースしているので、リストは既に作成されているので、”転送先の端末ID”として”1”を入力して下さい。

入力された番号の左に”◎”が表示されます。

転送先の端末IDを入力すると、転送中メッセージとして

” [ 現在転送しているByte数 / 送信するファイルのByte数 ] ”

が表示されます。

転送が終了すると、再度”情報ファイル名を入力して下さい。”と表示

されます。再度ファイル転送しない場合は、PF9で抜けて下さい。

1 システムのセットアップ

- ・ セットアップ中画面 (画面NO. 2)

```
LANGUAGE DATA BASE
MANAGEMENT SYSTEM

※
SETTING UP!!

WAIT. PLEASE.
```

※ セットアップに成功すると、※ (" SETTING UP" ) が、

" SETTING UP SUCCESS" に変わります。

接続エラーが起こると、" RS-232C Line

Disconnect" と表示されます。

(接続が正しく直されると、エラー表示が消えます。)

2 対話システム

- 日本語端末情報入力画面（画面NO. 5）

オペレータ情報入力	
氏名	: [            ]
国籍	: [        ]
年齢	: [        ]
所属	: [            ]

- 英語端末情報入力画面（画面NO. 6）

OPERATOR'S INFORMATION	
NAME	: [            ]
NATIONALITY	: [        ]
AGE	: [        ]
PROJECT	: [            ]

2. 1 日／英端末の情報入力について

1) 氏名 (NAME)

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

2) 国籍 (NATIONALITY)

全角5文字、半角10文字以内で入力して下さい。

3) 年齢 (AGE)

半角2文字以内で入力して下さい。

4) 所属 (PROJECT)

全角10文字、半角20文字以内で入力して下さい。

※ 英語端末は、全て半角入力です。

日本語端末画面 (画面NO. 8)

日本語端末	
送信パネル	受信パネル

PF3【送信】

英語端末画面 (画面NO. 9)

ENGLISH TERMINAL	
Transmission Panel	Receive Panel

PF3【SEND】

## 2. 2 対話モードの会話について

### 1) 割り込み受信

翻訳端末及び他の端末の画面では文字の色は変わらないのでリストでしか確認できません。

### 2) 割り込み送信

同上

### 3) 通常送信と受信

通常を送信、受信は白色で表示されます。

(割り込み時と変わりません)

### 4) 送信権

① 文字列を入力後は、必ず P F 3 キーで送信権を移動させて下さい。

(RETURN キーでは送信権は、移動しません。)

② 最初の送信権は翻訳端末、他の端末の両方に有ります。

但し、どちらかの端末が先に入力した場合、先に入力した端末が送信権を持ちます。

## 第 4 章 ソフトキーの操作

1	PF1	(翻訳端末のみ有効) --	59
2	PF3	(全端末有効) --	60
3	PF6	(翻訳端末のみ有効) --	61
4	PF9	( " ) --	62
5	ROLL UP	( " ) --	63
6	ROLL DOWN	( " ) --	64
7	HOME CLR	( " ) --	65
8	HELP	( " ) --	66

## 第4章 ソフトキーの操作

### 1 PF1 (会話処理中のみ有効)

レコード件数 : 翻訳端末 = z z z 9

日本語端末 = z z z 9

英語端末 = z z z 9

翻訳端末のみ、PF1キーが入力された時に上記のFORMATで表示します。

表示取り消しは、同じPF1キーにより行ないます。

※ 表示を取り消さずに、PF1キー以外のキーを押されても無視されます。

レコード件数表示処理中は、各端末はWAIT状態になり、各端末は、送信不可になります。

(各端末にWAITのメッセージが表示されます。)



2 PF3 (会話処理中のみ有効)

各端末への送信終了をしさせます。

(文章入力後PF3キーで送信権を移動します。)

PF3キーが押されると、画面上に"□"が表示されます。

※ PF3キーを押さないと、送信終了にならないので、送信権が  
移動しません。

従って、その間、他の端末からの入力は全て割り込みとなります。

3 PF6 (翻訳対話モード・会話処理中のみ有効)

翻訳端末のみ、日／英端末への送信を切り替えます。

PF6キーが押されると、画面右下に”【画面切替中】”と表示されます。

再度PF6キーで解除され、画面右下のメッセージが消去されます。

翻訳端末のみ、現在の処理を終了させます。

<p>よろしいですか？</p> <p>(Y s e / N o)</p>
--------------------------------------

会話中で、P F 9 キーを押すと上記の F O R M A T で表示され、“ Y ” で  
処理を終了し、メニュー画面に戻ります。

メニュー画面の時は、上記の表示はされずに、処理を終了します。

5 ROLL UP (会話処理中のみ有効)

翻訳端末のみ、"ROLL DOWN"された行数だけ、1行ずつ

SCROLL DOWNします。

"ROLL DOWN"処理が実行されずに"ROLL UP"が入力されても

無効になります。

※ ROLL UP処理中は、各端末はWAIT状態になり、送信不可に

なります。

(各端末にWAITのメッセージが表示されます。)

6 ROLL DOWN (会話処理中のみ有効)

翻訳端末のみ、1行ずつSCROLL UPします。

最大2画面までです。

ROLL UP/DOWN中、過去の会話内容は白色で表示されます。

※ 1画面分のデータが入力されていないとSCROLL UPしません。

ROLL DOWN処理中は、各端末はWAIT状態になり、送信不可になります。

(各端末にWAITのメッセージが表示されます。)

7 HOME CLR (ROLL UP/DOWN中のみ有効)

"ROLL UP", "ROLL DOWN" 処理の取り消しを行いません。

※ "ROLL DOWN" キーが押されていないと、無視されます。

(各端末のWAIT状態を解除します。)

## 8 HELP

翻訳端末のみ、現在の処理を中断し、DOSのモードに入ります。

DOSのモードから抜ける時は、"EXIT"と入力して下さい。

DOSのモードから抜けると、中断した所に戻ります。

※ 中断処理中は、各端末は、WAIT状態になり送信不可になります。

- ・ WAITのメッセージについて

① 日本語モードの時

しばらく、お待ち下さい。

② 英語モードの時

WAIT. PLEASE



5.1 漢字の変換と確定について

①変換はスペースキーで変換します。

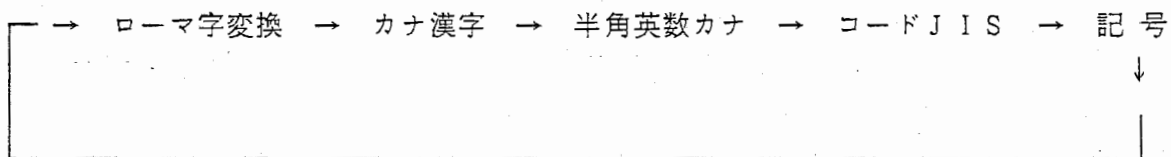
②確定はRETURNキーで確定します。

※ 漢字（全角）文字列を送信する場合、RETURNキーは確定のみの働きです  
 ですので、送信出来ません。送信は、PF3キーで行なって下さい。

5.2 ファンクション機能について

ファンクションキー	文字入力中	① 変換中	② 確定後
f・6 平仮名	入力された文字列を平仮名に変換。		_____
f・7 カタカナ	入力された文字列をカタカナに変換。		_____
f・8 半角	入力された文字列を半角に変換。 (英数カナ記号)		_____
f・9 無変換	ローマ字入力の際は、アルファベットに変換。		_____
f・10 モード	_____		入力モードを切り替える

※ f・10 入力モードの切り替えの順番は、



になります。

NO	エラーメッセージ	エラー内容
1	日本語端末への送信時にエラーが発生しました	拡張ポートに未接続
2	英語端末への送信時にエラーが発生しました	〃
3	全端末への送信時にエラーが発生しました	〃
4	モード設定に矛盾があります	_____
5	ダイレクトダイヤル中にエラーが発生しました	電話番号入力ミス
6	RS-232C Line Disconnect	標準ポートに未接続
7	生データファイルが見つかりません	会話収録名の入力ミス
8	会話収録ファイルが見つかりません	〃
9	ホスト端末と接続されていません	標準ポートに未接続
10	ファイル転送先の端末は定義されていません	ファイル転送先指定ミス
11	プリンタの準備ができていません	用紙切れ・SELミス
12	用紙をセットしていますか	用紙切れ・SELミス

- ・ 使用禁止キーについて

① CTRLキーとその他のキーを同時に押さないで下さい。

同時に押された場合は、現システムでは保証出来ません。

CTRL+X

X:全てのキー

② STOP, COPY, 機能が割付られていないファンクションキー等の入力は、  
受けられません。

※ HELPキーを押すことにより、MS-DOSのモードに移った場合でも  
同様ですので、ご注意下さい。


(<第4章 ソフトキーの操作>を参照して下さい。)

## 第8章 プリンタ出力について

A4サイズとB4サイズでは、レーザープリンタのメニュー設定が下記の表のように変わります。(サイズの変更は、レーザープリンタ側で設定して下さい。)


### ① メモリスイッチ コウモクに付いて

A4サイズの場合の設定		B4サイズの場合の設定
フォーマット	シユクシヨウヨコ	ジッスンヨコ
ヨウシイチ	チュウオウ	チュウオウ
イメージノコサ	ヒョウジュン	ヒョウジュン
クニベツモジ	ニホン	ニホン
ゼロ	0	0
キュウシ	カセット	カセット
Xホセイ	+00	+00
Yホセイ	0.9	0.0
グラフィック	ネイティブ	ネイティブ
CRキノウ	カイギョウセズ	カイギョウセズ
インジシレイ	CRノミ	CRノミ
バッファフル	カイギョウ	カイギョウ
リョウイキ	ワイド	ワイド
ケイセン	イメージ	イメージ
ジャム	リカバー	リカバー

※  は、相違点です。

② インジセッテイ コウモクに付いて

A 4 サイズの場合の設定		B 4 サイズの場合の設定
インサブスウ	0 1	0 1
ヨウシサイズ	A 4	B 4

※  は、相違点です。

※ レーザープリンタでは、A 4 サイズと B 4 サイズの 2 種類が出力出来ますが、  
シリアルプリンタは、B 4 サイズ固定です。

・ プリンタ出力時のメッセージについて

プリンタ出力時のメッセージは、出力開始時、出力中、出力中エラー時の 3 種類が  
有ります。

1. 出力開始時のメッセージについて

”プリンタの準備ができていません”

プリンタの SEL ボタンが押されていない時、用紙切れの時に表示されます。

但し、プリンタの電源が OFF になっていてもエラーメッセージの表示はされません。

プリンタを再準備してから、RETURN キーを入力すると再出力します。

2. 出力中のメッセージについて

”印刷中です…ESCで中止できます”

エラーがなくプリンタ出力中であることを表わしています。

出力中で中止する時は、ESCキーを入力すると中止出来ます。

3. 出力中エラー時のメッセージについて

”用紙をセットしていますか？”

プリンタ出力中でプリンタのSELボタンが押されていない時、用紙切れの場合に表示されます。

但し、プリンタの電源OFFの場合は、エラーメッセージは表示されません。

プリンタが再準備されると同時に、プリンタ出力が続行されます。

補 足 翻訳端末一台で ” 会話収録ファイル管理システム”、” メンテナンス”、

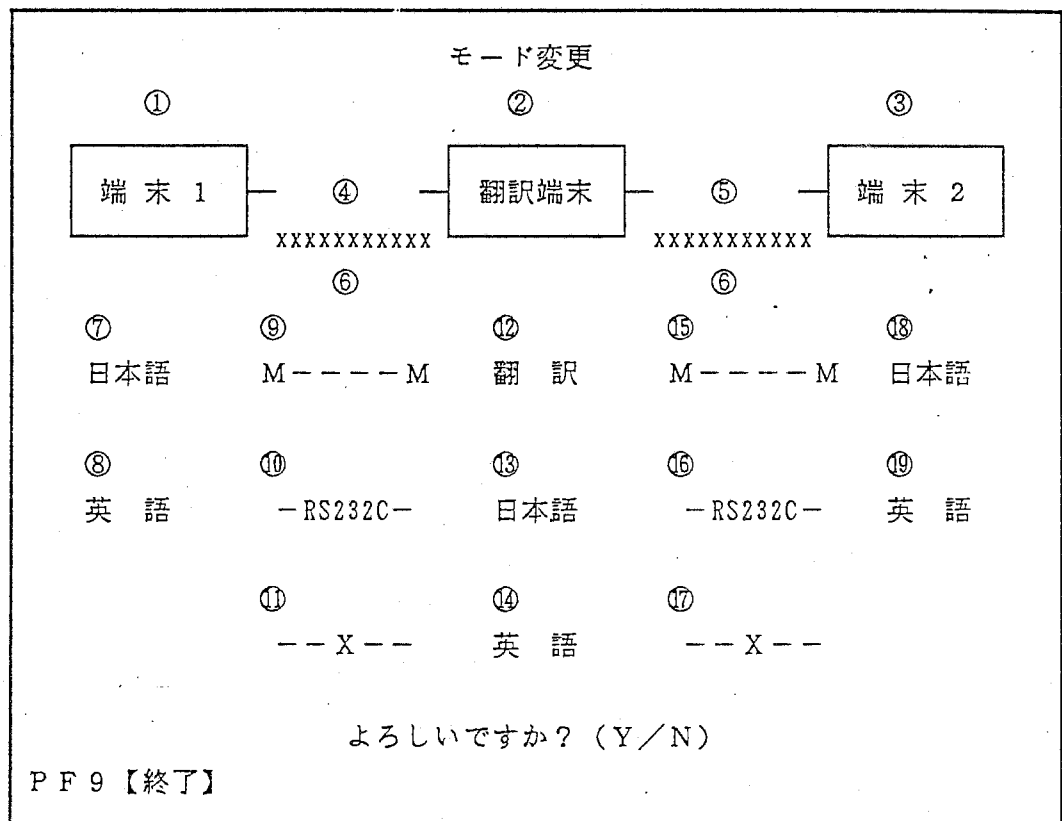
” ホスト通信” を使用する方法

1 システムのセットアップ

翻訳端末に、実行形式のファイルが入っているフロッピーをセットして電源を

” ON” にすると、自動的に立ち上がり下図のモード変更画面が表示されます。

・ モード変更画面 (画面NO. 1)



ここで、オプションの”\*”を入力して下さい。

システム選択入力画面 (画面No. 3) に変わります。

## 2 システムの選択

- システム選択入力画面（画面NO. 3）

言語データベース管理システム	
(Ver 2.0)	
1 :	翻訳付き対話システム
2 :	対話システム
3 :	会話収録ファイル管理システム
4 :	メンテナンス
5 :	ホスト通信
6 :	ファイル転送
7 :	モード変更
8 :	漢字端末エミュレーター
PF9【終了】	

のメニューは、以降、通常と同様の方法で処理を行うことができます。

### 3 終了の方法

- ① 各システムのメニュー画面でPF9キーを押して下さい。

上図のシステム選択入力画面に戻ります。

- ② そこで、再びPF9キーを押して下さい。

システムを終了し、DOSのモードに移ります。



4 その他

1) 再起動について

通常と同じ方法で行えます。

【HOST】 HOST

2) HELPキーの機能は有効です。

3) 41ページ以降の生データファイルのメンテナンス、  
44ページのEDITコマンドも使用可能です。

ファイルと拡張子の対応

XXXX : ファイル名

☆ 情報入力ファイル..... XXXX. INF

☆ 生データファイル

翻訳端末..... XXXX. HST

端末1 ..... XXXX. TM1

端末2 ..... XXXX. TM2

☆ 生データ加工ファイル

翻訳端末..... XXXX. ED0

端末1 ..... XXXX. ED1

端末2 ..... XXXX. ED2

☆ タイプ別生データ編集ファイル

日英対訳リスト・・・・・・・・・・・・・・・・	XXXX. PR1
日本語端末日本文リスト・・・・・・・・・・	XXXX. PR2
英語端末英文リスト・・・・・・・・・・・・・	XXXX. PR3
端末別出力（日本語端末）リスト・・・	XXXX. PR4
端末別出力（英語端末）リスト・・・・・・	XXXX. PR5
端末別出力（翻訳端末）リスト・・・・・・	XXXX. PR6
時間対応の端末別リスト・・・・・・・・・・	XXXX. PR7
時間対応の端末別リスト（圧縮版）・・	XXXX. PR8
生データ参照用ブルーリスト・・・・・・	XXXX. PRN